京城日報

(年中無休刊)

[illegible]

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

十一月廿二日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

米條約再議

妥協を目的として

米國上院は保留批准案を否決したる後妥協を目的として講和條約を再議に附せんとする動議を三十對六十二票を以て可決したり(華盛頓電報)

別報

十九日夜上院は三回に亘り討議の結果講和條約を否決したるが大統領は次の議會に再び提出す可し(華盛頓電報)

婦人夜業猶豫短縮

日本勞働委員提案採用

華盛頓勞働會議に於ける婦人夜業禁止猶豫一箇年短縮の日本勞働委員の提案は採用されたり(華盛頓電報)

英陸軍明年豫算

英國陸軍明年度豫算は總額七億萬圓に決せり(倫敦電報)

英參謀本部改正

英國議會は參謀本部改正案を可決せり(倫敦電報)

セ將軍コ提督援助

極東哥薩克に命令

十三日セミヨノフ將軍はタホードネイ頭領として極東哥薩克に對し各哥薩克は全力を盡しコルチヤツク提督の經國的事業を援助すべきことを命令せり(浦鹽電報)

ガイダ將軍國外逐放

ガイダ將軍を國外に退去せしむることゝせるが行先は多分米國なるべし(浦鹽電報)

支那財界の將來

英米衝突は免がれざらん

支那有力者談=靳の正式國務總理就任に際し其の重要なる政策とする財政整理に就ては裁兵幣制統一中交兩票の市價維持等の經費を日米兩國より同額を借款し一は日米を調和し一は日米をして英佛の抗議に對せしめむとの內意を以て財政總長の人選に苦心し遂に周自齊を擧ぐるに至れるなり新總理が周自齊の手腕に信頼し且期待する處あるが如きも彼は今や全く純粹の親米派にして愈々財政總長の大任に就かば總統府側と共に米國野心家及支那側親米派を結合し一大財團を組織するに至るべく梁士詒、葉恭綽も米國資本家と提携して銀行團を組織する計畫を以て既に香港にて米國銀行家に運動したりとの消息あり果して是等の計畫實現するに至らば將來米國の在支經濟勢力は大に膨脹して遂に米國は支那の財界を壟斷するに至るべし依つて靳の豫想する日本同額借款を實行し得ざるのみならず日本は米支財團に加入する事を好まざるべし若し米國が財界の勢力を以て支那の主權を犯すに至らば現在の排日は變じて排米となるべく而も其の手段は排日運動に比し更に猛烈なるべし英米は目下表面相提携しつゝある如き觀あるも米國の對支政策は英國と其の方針を異にし居るを以て將來英米の衝突は免れざるべしと信ず云々(北京電報)

伊對支兵器賣込

數量と輸送完了

伊國が今回支那政府に賣込みたる兵器の數量は尠からず爲めに支那新聞は一時反對記事を掲げたるも其の後沈默に歸し英米人の外字新聞も是に對し餘り反對說を唱へず或は煙酒借款飛行機借款の關係あるが故なるべし今諸方面にて調査したる結果を綜合するに賣込兵器の數量は七珊半野砲二十三門同彈藥車六十六輛步兵銃三萬六千挺、輜重車廿一個砲彈二萬六千發小銃彈藥約七千發飛行機二臺騎兵銃及び機關銃若干にして秦皇島に於ける揚陸は既に完了し各地への輸送を終れり又小銃彈一萬二千發小銃彈六千發を山海關伊國兵營に運搬したる形跡あり猶停車場には既に積のもの七八百萬發あり天津にては野砲十七門同彈藥車輜重車の全部步兵銃約二萬八千挺砲彈約一萬四千發其他兵器附屬品を伊國租界內に運搬したり北京には飛行機二臺野砲六門小銃及び彈藥小量を移入したる形跡あり飛行機は伊太利より支那を經て日本に飛行する爲めに使用するものにして支那側の援助を求め北京南苑飛行學校にては目下準備中なり又曩に秦皇島より奉天に送りし飛行機材料十噸は奉天より新義州に輸送を完了したる旨通報ありたり(北京電報)

帝國西伯利增兵

更に外交調査會にて協議

二十一日午前十時より定例閣議を開き田中陸相より西伯利の戰局、並に極東一般狀勢を報告し數種の敵應策を述べ增兵の已む無きを陳述し各相凝議の末大體陸軍提案の消極的增兵を是認したるもの、如く午後も引續き協議せり尚ほ一兩日中に外交調査會を開き增兵問題幷に新局面に就き協議するべしと(東京特電)

海軍異動追報

海軍異動追報左の如し(東京電報)

呉海軍工廠檢査官 伊勢艦長海軍大佐 一桑島省三
呉海軍鎭守府附被仰付(各通) 海軍大佐 土師勘四郎
山城艦長海軍大佐 加藤雄次郎
橫須賀海軍鎭守府附被仰付
呉人事部長兼呉鎭守府人事長海軍大佐 四元賢助
金剛艦長海軍大佐 野崎小十郎
橫須賀海軍鎭守府附被仰付
霧島艦長海軍大佐 勝木源次郎
舞鶴海軍鎭守府附被仰付
鞍馬艦長海軍大佐 別府友次郎
補日向艦長
扶桑艦長兼安藝艦長海軍大佐 生野太郎八
補佐世保防備隊司令官
佐世保防備隊司令海軍大佐 森本義寬
補薩摩艦長
海軍軍令部出仕海軍大佐 橫尾尚
補霧島艦長
鹿島艦長海軍大佐 大谷幸四郎
補扶桑艦長
霧島艦長海軍大佐 飯田延太郎
長門艤裝委員長被仰付
海軍兵學校教頭兼監事長海軍大佐 大石正吉
補榛名艦長
磐手艦長海軍大佐 筑土次郎
補呉海軍人事部長兼呉鎭守府人事長
生駒艦長海軍大佐 安村介一
補鹿島艦長
出雲艦長海軍大佐 增田幸一
補橫須賀海兵團長兼橫須賀[illegible]長

軍司令官伏奏

目下東上中の宇都宮軍司令官は廿二日天皇陛下に拜謁仰せ付けられ親しく管下軍事狀況を奏上するところありたり(東京電報)

後藤男隣邦視察

後藤男は近く支那及び西伯利を視察すべしと(東京電報)

日銀帳尻

二十日現在左の如し(東京電報)

發行高	一、二一一、六九四
正貨準備	八二二、五一六
限外發行	一六九、一七七
貸出高	三六〇、五六六

總督邸茶話會

齋藤總督同夫人は二十二日午後四時三十分より官邸に於て茶話會を催し目下來城中なる米國各教會聯合教化世界運動委員團長ウオルレー氏同夫人等二十餘名を招待し總督府側よりは柴田學務局長、松永外事課長、伊藤秘書官、今村通譯官各課長、夫人等參列し同國の社會救濟事業等に關し意見を交換し歡談夕刻散會したり

解決の方策確定す

朝鮮留學生の教養啓發に就て

外人經營寄宿舍閉鎖、懇談會の結果

朝鮮人青年子弟の東都に留學する者が往々にして邪道に迷ひ却て其志と反するの結果を見るもの多きは朝野の士の齊しく遺憾とする處にして總督府にても其對策に就て研究中なりしところ東上中の水野政務總監は根本的に此問題を解決する手段に就て朝野の協力を求むる爲め十八日築地精養軒に懇談會を催したることは既電の如くなるが

當日の來賓

は兼ねて朝鮮留學生問題に就き盡瘁しつゝある日本平和協會副會長阪谷男、島田三郎、平岩愼保、川上昌保、永田秀次郎本間利雄、日疋信亮、渡瀨常吉山縣五十雄氏等十四名、外人側よりはジヨルゲンセン、ベーツ、ボール、オルトマン、ペッビー、トレー、エルウヰン、ライシヤル氏等日本在留宣教師の宿老を網羅し主人側よりは水野政務總監、守屋秘書課長出席、午後五時先づ阪谷男より本日の

會合の趣旨

に就きて挨拶ありたる後川上昌保氏より基督教青年會の歷史を詳述し平岩愼保氏鮮人感化の實狀を說きボール氏ジヨルゲンセン氏よりも隔意なき感想談あり、七時食堂を開き水野政務總監起つて一視同仁の聖旨を說き朝鮮に公明なる政治を敷かんとするに際し鮮人留學生の前途に就いて今夕各方面より多大の忠言を得たるは多謝するところにして凡ての問題の解決は衆智衆力に依らんことを期する旨挨拶あり島田三郎、ベーツ、エルウヰン、オルトマン、ジヨルゲンセン氏等亦相次いで

感想や希望

を述べ滿足の意を表明し朝鮮統治の困難は忍耐によりて打克つ可し我等も進んで一臂の勞を吝むものに非ずと力說し歡語の後十時散會せり而して當日懇談の結果は從來動もすれば兎角意志疏通せざるやの嫌ありし米國宣教師側との諒解成立し從來外神田にありし外人宣教師經營の朝鮮人青年會寄宿舍には目下九名の殘留者あるも漸次閉鎖の方針を執り一方麴町上六番町の朝鮮留學生寄宿舍に從來の方針を

全然一變し

自由の空氣を入れ諸般の懇切なる教育的設備を講じ東洋協會理事長にして前警保局長たりし永田秀次郎氏專ら監督の任に當ることゝなるべく尚同寄宿舍の收容限度は六十名にして在留六百名の學生に對しては狹小なるを以て漸次常に氏等の東光學舍其他有志に對して鮮人學生のために眞に常識的保護の勞を執らんとする向に對しては相當の援助を爲し青年有爲の輩をして邪道に迷はしむる如き遺憾事の將來必無ならんを期する旨なりと(東京支局)

十周年を回顧して

大田朝鮮銀行理事談

鮮銀史を繙くまでもなく古來日本の勢力は島國內のみに跼蹐せず常に海を超へ外に向つて延びんとしてゐる敢て侵略の意味にあらざるも吾國の

海外發展

は避くべからざる國是と見るも不當であるまい朝鮮銀行は不肖ながら此國是に順應し其の急先鋒となつて經營を續けてゐるのであるが倏忽の裡に十年の歲月を閱した今日周圍を顧れば第一世總裁市原氏の庶務局長として多年鮮銀の爲に努力したる山田松根氏の長逝したるは哀悼の情に堪へず又創立以來の重役たる三島理事は外遊中沿途に病を發し木村理事は外遊中廿二日倫敦を出帆して歸朝の途に就いたけれど共に十年記念の宴に列し得ないのは初めより苦樂を同じくせし予の遺憾とする所である十年間に於ける鮮銀の勢の變化を語る事は一朝一夕に出來ない唯二三の數字を見るも其の進運は關係者たる予等にも

外意の感

を催さしむるものが得ぬ乃ち拂込資本金は當初二百五十萬圓(公稱一千萬圓)より三千七百五十萬圓に進み十二月に入れば四千萬圓となり十五六倍に達し店の數も初めは鮮內十三滿洲一店都合十四なりしもの今日では內地支那西伯利に及び三十八店の多きを算してゐる行員は二百十九名より一千三百八十五名に殖えた銀行券の發行高は四十二年末一千三百四十萬圓より一億四千萬圓に結局十一倍の躍進である預金は創業時の七百萬圓より最近の現計は一億六千三百萬圓に又貸出は一千四百萬圓より二億九千一百萬圓に非常な飛躍である要するに四十二年朝鮮半島に店を開き四十三年內地に進み大正二年滿洲に延びその後支那本土に西伯利に北米に而して明年は英本國にまで機關を新設せんとし以上の如き實績を示すに至りしは官憲並に民間有力者の同情推輓大いに與つて居るのであるが此間經濟浮沈の甚しきに拘らずかくまでに發達を見たと云ふ事は創業以來鮮銀に勤續せる予の欣快に堪へぬ點である鮮銀發展の數字はこれ乃ち鮮滿財界の膨脹であり更に帝國勢力の伸長である漸く第一期を終り今後は第二期に移り新生涯に入る譯であるが二十年の齡を重ぬる時は更に大なる記錄を殘すべく予等は努力奮勵を怠らず未段ながら當局並に各位の御援助の一層大ならんことを希望して止まない

辭令(二十一日附)

任總督府典獄 總督府囑 中橋政吉
京城監獄在勤を命す

都市金融指定

金融組合令第五條第二項に據る市街地として大正七年十月に於て府に次ぐ比較的大なる市街地十五箇所を指定し都市金融組合を設置したるに其の成績大體に於て良好なるのみならず近時地方經濟の發展に伴ひ前指定地以外の地に於ても之が設置を希望する者多數なるに因り二十四日告示を以て全北益山郡、慶南麗水郡、慶北迎日郡、全南統營郡、咸北鏡城郡、城津郡、會寧郡の各地を金融組合第五條の規定に依る市街地に指定すべき旨發布さるべし

陸軍工事概況

本年中に竣成を告ぐべき陸軍工事は龍山將校下士官舍五十一棟を始め大邱步兵第八十聯隊被服庫大田步兵兵舍增築其他の工事等にして龍山宿舍の工事費は約三十八萬圓に當れり其他は來年度即ち五月竣工の豫定なるが其の主なるものは龍山步兵第七十九聯隊騎兵聯隊野砲兵聯隊工兵大隊等の兵舍にて是にて殆んど完成を見るべく咸興にあつては步兵聯隊兵舍羅南にあつては師團司令部及び官舍會寧にあつては官舍等にて是亦五月迄に竣成し唯工兵大隊に限り來年十二月末迄を要すべしと

米輸送漸增

最近米問題に就ては內鮮を通じて研究せられつゝあるが今朝鮮より輸送したる米の總量に就て大正元年度以降累年の比較を示せば左の如くにして、逐年著しき增加の跡を窺ふに足るべく今試に七年度の輸送數を遠く明治四十年度の五萬六千噸に比する時は約六倍強に當れり

元年度九萬七千八百六十九噸
二年度十六萬一千二百二十九噸
三年度二十萬六千八百十七噸
四年度二十六萬三千四百七十二噸
五年度二十六萬六千八百七十二噸
六年度二十七萬六千二百二十四噸
七年度三十五萬七千九百九十七噸

鮮銀券漸膨

收穀期に入り漸騰の趨勢にある朝鮮銀行券は二十日現在に於て一億四千萬圓を突破したるが各支店より迴金の請求並に地方銀行の資金申込みも多き模樣につき尚ほ膨脹すべし

興鐵株問題(解決)

京城現物問屋組合より最近賣出したる朝鮮興業鐵道株式會社株式に關して諸種の風說と疑惑を生じたるが右は田中組合長滿洲方面に旅行せしためその留守中行違ひを生み遂に問題を惹起したるもの、如く二十二日午後六時より同社發起人側現株組合側新聞社側等朝鮮ホテルに參集協議の末問題を解決したるが發起人側より株を出したる事はなしとの事なり

産鐵株公募

藤田富太氏を創立委員長とし松本平右衛門、鄭誠之助、和田常治、原田金之祐、李完用、韓相龍、李鍾次郎諸氏其他を發起人とする資本金二千萬圓の朝鮮産業鐵道は總株數中二萬株を創業に際し公募する事となり廿二日より廿六日まで讓渡金一株に就て二圓朝鮮にては鮮銀、殖銀、漢城銀行三行の本支店にて之れを取扱ふべくその申込期間は特に三日間延長しあり

仁川米期新高値

七圓臺

二十二日前場の仁川期米は大阪高に鞭撻され四十七圓臺に奔騰せりと

財界閑話

市中金利の暴騰も甚しい、此の數日の間に三四厘方も飛上つてゐる▲お蔭で借りる方は鳥渡弱つてゐる、然し金利の上つた上に銀行より信用して借りられるのだから猛々借り手は無いわけだ▲銀行は余程利得も多いらしい然し年末行員の手當や消耗品やその他の臨時による經費の增加は非常のものだから此位はあげねばやつて行けぬさうで▲銀行の首腦者は云つてゐる▲色々の風說と色々の疑惑と色々の臆測を惹き起した興業鐵道株式會社も▲現物組合長の田中君が旅行中飛んだ手違ひから行違ひな事から意外な事になつたのだと云ふ▲兩三日前滿洲より歸つた田中君は男らしくすべての行違ひの責めを負はうと出て要するに發起人株の出てゐない事は慥かな如だ▲さすれば色々の疑惑を向けられた會社には氣の毒であるが今回の問題で何所斯樣な事に就て各方面とも細心の注意を拂ふやうにならう▲二十三日は鮮銀開業十周年、生れて尚ほ未だ十歲の少年としては鮮銀はなり過ぎ老せ過ぎてゐる▲今後の十年乃ち鮮銀が二十の青年になつた時いかに行務が變化してゐやう▲鮮銀の生る時十年後にかく發展すべしとの豫想を何人もなし能はざりしやうに二十年後の豫想も何人にも出來まい▲然し年らくべき推移を事實に於て現はすだらうと云ふ事は何人にも異議のない推測であらう

人事消息

▲工藤壯平氏(總督府文書課長) 東上のところ二十二日朝歸任同日より登廳
▲鈴木泰介氏(總督府技師) 二十二日附京畿道管內へ出張を命ぜらる
▲李家下關市長 二十二日仁川往復
▲水谷千萬吉氏(平壤鑛業所長) 二十二日入城浦尾へ
▲岡半右衛門氏(三重縣米穀商) 同上
▲川上佐太郎氏▲中野盟一氏▲熊倉福松氏▲小河清之助氏(新潟縣實業家) 同上
▲大野軍參課長 廿二日正午朝鮮ホテルに於て目下來城中の李家下關市長を招待し歡迎午餐會を開けり
▲美濃部鮮銀總裁 二十二日午後七時五十分南大門驛着歸城
▲ミラー氏(京城駐剳米國領事) 夫人同伴二十二日朝釜山上陸十時急行にて北行(釜山特電)
▲織田朝鮮興業專務 二十二日朝來釜(釜山特電)

◎鮮銀券日報

二十日現在左の如し

發行高	一四一、〇一一、三五四
正貨準備	七一、〇三四、七七四
保證準備	六九、九七六、五八〇

其の日その日

◇俄然フューメを占領して、フューメ問題を紛糾せしめたるダヌンチオ君は、更に進んでダルマチアに突入し、ザラ市を占領し、住民の熱心なる歡迎を受けたりと報ぜらる。元來ザラ市は、住民の七割は伊國人にして、フューメ同樣事實上伊國の勢力範圍也。ダ君のダルマチア侵入は、如何なる意圖に出しや、勿論不明なるも、フューメの解決未だ遼遠にして、且つ伊國に有利なる落著を豫想するを得ざるを以て、ダ君の熱血は更に君を驅つて、放向に其威力を伸ばさしめたるに非ざるか。然れども是に依つて却つてフューメの解決が、伊國に取りて不利益なる結果を來すなきか、折角同情を寄せたる英佛をして、再び惡化せしむるなきか。

◇佛國の總選擧は、未だ全部の結果を知るを得ざるも、國民統一黨が大多數を以て、社會黨を破れるは最早確實なるもの、如し。是れ即ち佛國民が大戰の教訓を其儘、戰後の國家に應用せんとするの徵象に外ならずと解し得べし。佛國に於ても、一時は大いに過激派的勞働運動が起るべき觀ありて起らざりし原因も、總選擧の結果に由りて、領解し得べし。今や英米が過激派的勞働者の跋扈によりて混亂せる中に、佛國にのみ此の新現象を見るは、洵に慶賀に堪へざる也。

◇米國上院は講和條約保留を可決せり、而してモンロー主義確認案も亦二十二票の多數を以て可決す。吾人は其矛盾に驚かざるを得ざる也、或は[illegible]者の愚なるかも知らざれど、試みに見よ、山東處分案に贊同を保留し、他日本問題より日支間に係爭を生ずる場合は、米國は全然自由行動を取るべく決議せるに對し、一方に於てはモンロー主義確認案を承認す、是れ偉大なる矛盾に非ずして何ぞや。蓋し是れから先が頗る面白き見物也。

興鐵株問題に就て

京城有價證券現物問屋組合の申合せを以て朝鮮興業鐵道株式會社株式の賣出しをなす事こなり其の處理を組合事務員に命し組合長たる小生は商用を帶び上旬より滿洲方面に旅行し十九日歸京致し候然るに留守中右賣出し株は興業鐵道會社發起人持株なりとの風評を生じ社會の疑惑を招き延いて同會社の信用にも累を及ぼしたる由なるが右は從來の商習慣により(發起人株は會社創立前に之れを手放す事を得ざるは言を俟たず候)何等同會社の發起人に交涉關係を有せざるものに候然るに一時たりとも一部の疑惑を生じたるは全く小生旅行不在のための行き違ひにして會社發起人に對し又組合員に對しても遺憾千萬に存じ候間玆に責任を以て事實を宣明致し候

大正八年十一月二十一日

田中友吉

結核病者及虛弱者

特效滋養劑

カルピス

■カルピスは醫學士榎木芳一先生創製に係る魚肉蛋白滋養劑にして獨特の香味を有する易消化性の粉末なり。

■カルピスは蛋白質以外尚人體營養に必要なる成分の多量を含有し、食慾催進、血液新生、神經强壯、營養增進の作用頗る顯著なり。

■カルピスは實驗醫家により、結核病者及同素質者、神經衰弱、貧血、胃腸弱等の病者並に一般虛弱者に對する滋養强壯食料として最も適當なりとの批判を得たるものなり。

■カルピス實驗報文集あり御申越次第進呈すべし。

■價格 二二五瓦入 金壹圓九拾錢 / 四五〇瓦入 金參圓五拾五錢

東京日本橋本町 發賣元 三共株式會社 出張所 大阪

▲正誤 拾壹月貳拾壹日附夕刊掲載右廣告ノ商標ヲ『待』トセシハ『命』ノ誤植ニ付訂正ス

▼仲買店開業

私儀今般仁川米豆取引所仲買人營業の件其筋の御認可を得申候に就ては左記場所に於て營業開始仕候間何卒宜敷御引立被成下度申す迄も無御座候得共御注文に對ては迅速確實を旨として機敏に御用命相務め顧客本位丁寧誠實出來得る限り御便利に御取扱可申候間多少に不拘御用命仰付被下度伏て奉懇願候 敬具

本月貳拾日開店

大正八年十一月

仁川海岸町三丁目

仁川米豆取引所仲買人

布井仲買店

電話長二六四番
電話長三三五番
發信電略ヌ(又ハ)ヌノ井
受信電略仁川ヌノ井

店主 布井嘉造

本講習所は鐵道知事認可にして東洋一と著名なる東京自動車學校之を監督し本校と同じく自動車運轉手▲技師▲販賣員其他世界的に自動車業務に從事するに必要なる學術技術を授く

學生募集 京城自動車講習所

■規則 專科●實習科●校外生科の三科を設け專科は每月十五日新學期を開始し二ヶ月卒業とす入學は內鮮何人を問はず初學者を無試驗許可す學資金は入學より卒業迄二ヶ月分入學金授業料書籍代及自動車運轉練習の費用等合計金百圓一回にて入學の際前納せしむ實習科も每月十五日新學期開始一ヶ月卒業とす入學は本校の校外生卒業者又は多少自動車の知識を有するものは無試驗許可し主として自動車の運轉練習を教授す此費用は九十七圓前納とす●校外生科は何人をも隨時入學を許し學業期間を定めず最初四圓を前納せしむ尤も短期に卒業を望む者は授業料の全額拾七圓を前納すれば全部の教科書を一時に送附して速に卒業せしむ

■注意 右學資金は內地に遊學する旅費に過ぎず且內地語の不明なるものには鮮人教師を以て質問に應じ又は學術不良と認むるものには卒業後別に學資金を徵收せず研究せしむ

京城府黃金町三丁目角 振替口座京城七一八八番●電話長二〇〇六番

●內地に遊學を望む者は東京本校及大阪、福岡の各分校に入學する事を得規則書は申込次第送

大飛行中止說は果して眞か

公電が來ぬ以上何處までも準備を進めると當局者は語る

羅馬特電が羅馬東京間大飛行中止を報じ來りしに就き果して眞なるや否やに就き是を當局に聞くに大飛行中止の公電には未だ接せず其の中止說は羅馬一新聞紙の報道する處なれば今直に之を信ずる事能はざるべし伊國にては今回の大飛行に關し經費八百萬圓を既に支出したりとの事なれば是が爲め假令ダヌンチオ氏參加を中止するとも他の人是に代りて來朝する事となるべし中止の公電に接する迄は來飛すべきものとして諸般の準備を完成せしむべき方針なりと云々

二丈二尺の布地で出來る經濟服

節米の次が節布の宣傳 東京裁縫研究會で實習

節米に力瘤を入れた田尻東京市長は今度は被服地の用布節約の大宣傳を始めるさうな、節米宣傳では多少の代用食の試用されるに至つた今日、今度は切れ地の奔騰で、時に某呉服店が少し安く提供する爲め **木綿で一** なごを開催すると直ちに門前市をなすといふ有樣で、一節六千五百圓の帶を買ふ人ある反面には十錢でも安く買はうと願ふ者が多い、此際尾崎行雄氏令弟尾崎芳太郎氏夫妻は二丈二尺の布で出來る實用向きの經濟服の研究を發表したので、百八十七の小學校裁縫科 **擔任教員** から組織して居る東京裁縫研究會では、澁谷教育課長が會長となつて右の經濟服の講習會を開くこととなり十八日から向ふ十日間神田一つ橋小學校で實習することになつた、尾崎氏は語る『歐米諸國は大戰開始以來袴の長さを詰めて服地の節約を計つて居ます **戰金國の** 米國さへもさうで獨逸は戰前の五分の三に節約して居るに反し日本は徐々奢侈に傾いて止む處を知らない樣子です、我が國でも奈良朝の昔は用布は二丈五尺を用ゐ 代までは用布は二丈五尺を出……擴へられたが何時の間にか二丈八尺となり、三丈三丈一尺の登場になつた』と尾崎式經濟服は上着ばかりでなく、羽織襦袢なごにも **廣く應用** され勞働服として此上なく調法で、一反物の殘布で子供用の改良服が出來るのださうな(東京)

行幸啓御取止 雨の觀菊御宴

二十一日觀菊御會を御催し遊ばされしが降雨の爲め、兩陛下行幸啓御取止めと相成りたり(東京特電)

新嘗祭式典 京城神社にて執行

二十三日は新嘗祭當日なるを以て京城神社に於て午前十一時より嚴肅なる祭典式を舉行せらるべく定刻となるや拜殿前庭に於て衣冠束帶せる宮司以下參列者に至るまで修祓を受けて拜殿に參進し所定の座に着き喨喨たる雅樂奏の裡に谷村齋主昇殿御扉を開き奉れば齋員一同山野河海の神饌十數臺を傳供し京城府より供進の幣帛を獻じ齋主祝詞を奏し再び伶人の奏樂裡に齋主以下參列者玉串を奉奠拜禮の後神饌を撤下し齋主再び昇殿御扉を閉ぢ奉りて一同退下式典を終るべし

伊太利飛行將校に花環を贈呈する三令孃

(上より)兒島德子孃(一八)、太田美代子孃(一四)、松永愛子孃(一二)

歐洲婦人の結婚難

國立の結婚媒介所 生活難以上の苦み

戰時並に戰後の歐米に於ける社會事業の視察を爲し最近歸朝せる某氏の話す處に依れば『過去五年に亘つた歐洲戰爭にて交戰國の英、佛、伊、獨、墺、其他の諸國は何れも多數の **壯丁を失** つたが中にも佛國の如きは百五十萬人と云ふ驚く可き多數の戰死者を出だした。從つて目下各國共に男子の數は非常に減少し女子は俄に加剩して男一人に嫁八人と云ふ有樣で一般婦人は生活難以上に結婚難に惱まされて居る、殊に **佛國婦人** の如きは勝れたる美人若くは金の所有者でなければ急には結婚の出來ぬものとして大いに悲觀して居る、斯る狀態であるから最近の英國、佛國では政府が國立結婚媒介所を設けて結婚媒介をする計畫で近く實現する事であらう。各國共に **平和後も** 戰時と同樣大半は婦人の掌握に歸して居るが一般の趨勢は依然現狀が維持されるらしく婦人はなかなか職業を男子の手に返さうとはせぬやうである。又戰場から歸國した軍人達も政府から相當の金を下げたので何れも其金で唯ブラブラと懷手で遊んで居る如な傾向が見ゆる』

龍山青年起つ 剛健主義宣傳

龍山青年有志は今回健實なる青年會を組織し時に講演會を開きては名士の講演を傾聽し以て修養に資すべく時に郊外を跋涉しては身神の剛健を圖り絕對に不健全なる思想の排除に努め一般青年の指導誘掖すべく二十二日午後六時半より發企人會合種々協議し近く具體的に發表し盛大なる發會式を舉行すべしと

防疫班 續々引揚げ

臨時防疫委員會にて各地に派遣せる臨時防疫班及移動防疫班は虎疫の漸減と同時に徐々引上中なりしが去る二十日限り慶南全南兩地の一部を除く外は全部一先づ引上を本部より命令しだり同時に內地より招聘せし醫師の多數を解傭したるを以て之等の醫師は續々內地へ歸還しつゝあり

世界一周飛行

準備委員長來朝 成功者には百萬弗の賞金 上二百臺に達すべく期間は明年六月六日より明後年七月三日迄の間

伊太利飛行家の極東訪問飛行が甚だしく世人の好奇心を唆りつゝある昨今十七日夜橫濱に入港せる東洋汽船サイベリヤ號の船客に世界一周委員長イーモン少將あり氏は曰く世界一周飛行準備の爲め日本、支那、朝鮮の各地を歷訪するものにて右飛行に參加する飛行機は百臺以上二百臺に達すべく期間は明年六月六日より明後年七月三日迄の間なり、最も短時間に世界一周に成功せるものに對し百萬弗の賞金を與ふるにあり云々と日本には三週間滯在し關係方面と打合せを爲したる上支那に赴くべし

朝鮮は眞暗黑

三十萬の內地人が今急に引揚げたら 鮮人の執るべき途は只一つ 鄭雲復氏の談

前帝國新聞社長鄭雲復氏は去る九日以來不在であつたが二十一日午後四時恙なく歸宅した府內三角町九十一番地同氏邸を訪ふと久敗振りで一家團欒の家庭は主人の病中にも拘らず **歡喜に輝** いて居る。……を運べに出た。鄭氏は大分衰弱して居る容子だが夫れでも病床に身を起して元氣よく語る『皆さんに **御心配を** かけましたが幸ひに無事に歸宅しました、病氣は一時よりは幾分か快い方ですが持病が腹膜と云ふのですから捗々しく參りません、食なければ病氣には可いのですが惡いと知りつゝ戒めを忘れて不養生をしますから何時までも全治しないので、恰度朝鮮の現狀に似て居ますナ』と **寂しい笑** をたゝへて『國家を害ひ民衆を惑はすのを知りながら此々たる感情の抑制が出來ず吾々鮮人の或一派の人々が樣々な妄動を試みて居るのは實に嘆かはしい次第です。獨立を叫んで果して夫が實現されると思つて居るでせうか、無暗に **民族自決** 主義を稱へて夫が如何なる効果があると思つて居るのでせう、他外國の保護を受けるのと此處に何れだけの違ひがあるのでせう日本の支配下にあることを許ふのですか、假りに朝鮮が獨立し得るものと假定しても眞に朝鮮の獨立を保つには **五十萬噸** の海軍と五十萬の常備陸軍とが必要です其莫大な經費が何處から出ませう。三十萬の內地人が今急に引上げたら朝鮮は暗闇になつて修羅の巷に化するのが眼に見ゆます、朝鮮が內地の爲めに享けつゝある利益の甚大なる事は夥しいものです **其恩德を** 無視して之れに反むかうよりは教育に產業に朝鮮の實力を充實させて內地人と差別のない地位と待遇を要求したら得る途に到達するのが目下鮮人の執る可き義務だと思ひます、脆弱な獨立國程慘めなものはありません。歐洲戰爭に於ける白耳義其他の小國が好い手本だと痛切に感じました』

噂の人……？ 鄭雲復氏

✈飛行エピソード

絲の無い紙鳶

長澤中尉威力偵察の副產物 始めて飛行機を見た支那人

雨上りの空に 日本最初の飛行機の出來事で是は靑島攻圍戰初期の出來事である。大正三年九月十六日午後一時四十五分、山東省萊州の北東の空に當つて、突如轟々と唸る怪しい音が聞え出した。最初雨上りの淺黃の空に黑い一點を見出だした日本兵は飛行機が來た！飛行機が來た！と口々に叫びながら上空を仰いだ、將校も出て見る眺めた、敵乎味方か？双眼鏡を出して見ると翼には鮮明な日の丸が見ゆる、日本のだ！日本のだ！兵隊の中には始めて飛行機を見るものもあつて、プロペラーの快音を聞いた時如何に胸を躍らせたか、軈て其飛行機は萊州の上空に來るや漸次旋回飛行を試み、千米突より九百、九百より八百と下降して來る、飛行機はニウポール單葉である、兩翼の日の丸は肉眼でも明かに見えて來た。兵隊は思はず一齊に萬歲を叫んだ。中には其の威力を思うて感激の淚に咽んだものもあつた

俄然驚き騷ぐ 日本兵は斯くて歡呼したが支那人は少しも動じなかつた。敢て騷がず、動ぜざるは何故ぞ、さては敵の飛行機、斯う思つてるのか、誰しも斯う思つて居た。然るに飛行機が低空二百米突位に下降して來るや支那人は騷ぎ出した、同音嘆聲、頭上に飛行機が來る每に蜘蛛の子を散らすが如くわッわッと叫びながら逃げ惑つた。飛行機は縱横自由に飛翔する、機上の人も明かに見ゆる、軈て機は漸次高空に向つてつた

『絲は？絲は何處だ？』と呆れて眺めてゐた支那人は西に南に揮ひ上がり快速力を出して平度方面に飛び去ると、今こそ叫びつゝ、飛行機の後を追つた、彼等は初めて飛行機を見たのである最初機影を望んだ時紙鳶とのみ信じてゐた敢て騷がず動ぜなかつたのも是が爲めであるところが人が乘つてゐるので初めて驚き騷いだがそれにしても絲がなくして飛ぶ筈がない絲無くして斷じて飛べるもので無いと空の一角を眺めながら絲を發見しやうと努力したのである機上の人は長澤中尉であつた彼が萊州飛行訪問は威力偵察以外に支那人をして十分日本の威力を信頼せしむべき強い力を與へて餘りあつた

漸く終熄か 開原の虎疫

一時蔓延を把握されたる開原城の虎疫は其後南城外鴨里に一名の疑似患者を出したのみにて終熄の見込あり最早憂ふるに足らずと(二十一日開城電話)

此頃の學校衛生 當局の打合せ

近頃の氣候不順で府內各小學校に於ては兒童の健康狀態頗る良好ならず殊に猩紅熱流行するが如き兆ありて殆ど絕無と相てあるが廿一日は各學校醫が府廳に集合して流行性寒冒其他に對する打合せを爲けたと云ふ

住豐丸沈沒 岩浦沖にて

安東縣より京城三千枚を搭載して下流の汽船錨地に向ひたる鴨江商會所有汽船第二住豐丸は去る十七日西岩浦沖にて風波の爲め沈沒せり損害貨物一萬圓船體六千圓なるが人畜には死傷なきも救助の見込なしと(新義州)

乘二浦の火事 損害約一萬三千圓

廿日午後九時三十分頃乘二浦本町一四七番地三宅宗一郎方より出火し隣家山城商店及び大迫組大方に延燒せり急報に接するや警察署及び消防組は時を移さず馳せ付け消防に努めたる結果大迫方を半燒三宅山城全燒したる後同十時半鎮火せり原因は三宅方の留守中溫突の焚口より出火せしものなり損害は山城方一萬圓三宅方二千五百圓大迫方五百圓位にして人畜の死傷はなかりし

春川騷擾犯人等控訴す

去る三月江原道春川に於て附近の村民二百餘名騷擾し株式會社中村組の社員本田武彥並に李通譯に對し暴行脅迫したる業務妨害不法逮捕及傷害事件は京城地方法院に於て審理の結果十一月四日主犯とも目すべき江原道春川郡……外廿一名は夫々懲役又は罰金に處する旨判決言渡しありしが此判決に不服を申立てたるを以て近く京城覆審法院の公判に附せらる

竊人猛々し

京畿道高陽郡中部面上出里百三十九番地……こ云ふは本月十五日午後七時頃本町一丁目五十一番地莫大小商……屋の一方にて莫大小一枚價格二圓三十錢を竊取逃走せんとする所店員に發見されければ強方なく八十錢負けよと誤魔化し店員が主人に問うたる上にすべしと帳場に行きし隙を窺ひ遂に之を竊取逃走せしが約三十分を經て再び同店員の隙に乘じ手袋一個を竊取逃走したるも間もなく本町署の手に逮捕され訊問の末二十一日檢事局に送らる

騷擾事件公判

江華島に於ける騷擾事件被告三十五名に對し過般來京城地方法院に於て審理中の處廿一日第一回公判開廷せられたり

開橋中止

鴨綠江附近は二十二日疾風猛烈を極めたる爲め鴨綠江橋梁第一回目の開橋を中止せり

お寺と教會

▲南山本願寺 廿二日土曜講演午后七時『無限の道』青森開教使 同二十三日午前九時半より日曜學校開始午后七時『勝利と降服』長崎開教使 ▲妙心寺『長沙洞』二十三日午前十時半 ▲メソヂスト教會(旭町三丁目)廿三日午前十時半『神人合』中村牧師同午后七時『悲嘆の內に』同牧師 ▲京城組合教會(南米倉町)二十三日午前十時半『心の貧しき者は福なり』高橋慶太郎『祝福の生涯』秋月牧師 ▲日本基督教會(若草町)二十三日午前十時『一致の根底』秋月牧師同午后七時 ▲貴金町『青年傳道說教會』青年會員

灯頃

▲京城神社の新嘗祭は神職曰く、『新穀を神に奉供し祭は、年內惡き虱なく、五穀の豐穰であつた事を奉謝する祭典である▲古來祭祀中、最も重要なる式典として、宮中に於かせられても至尊の御親祭があり伊勢神宮には特に勅使の御差遣がある▲又全國に於ける官國幣社以下各神社は一齊に、勅令で定められた所の大祭式に則つて、祭典を行ふ事になつて居ること▲朝鮮ホテルの新京支配人は篆刻に趣味を持ち人の顏さへ見れば『彫つて進ぜう』と云ふ相だ、崑遊肥後の顏でも有まいし

急告

過般來弊部出張員と詐稱し植田貫一なるもの各地に於て購讀料集金致居り候へ共本社は曾つて出張員派遣せし事無きは勿論同人とは全然關係無之候條爲念廣告候也

京城日報社代理部

連絡船上陸者 船津當一郎、巨板民之助、伊東文四郎、平澤保作、宮本定一、水省三、福田市平、井上一身、三島崎清英……

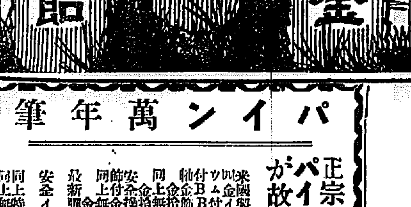
機關夫慘死

仁川期米 二十二日後場

天氣 曇少雨一時晴

東京三金の靴 ボックス革製實用長靴

三金高等靴店 東京市芝區愛宕下町 電話芝一六九 振替東京一七二三〇



黃金館 初日滿員 三等席八時賣切 新派近來の●西洋物●活劇三種共此期に是非御觀覽願上候

債券 南滿洲債券株式會社 大連市西通二丁目 電話長一五二四番 振替大連一三三〇〇番

支那書畫骨董珍品壹千點 空前の大競賣會 日時 本月廿二日下見廿三日午後一時より競賣 場所 永樂町競賣會樓上 荷主 松田初太郎 世話人 京城競賣株式會社

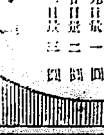
均一特價販賣 春 廣 大人物 外套 マント 小供マント ▲オーバ ▲トンビ ▲東コート 岡田洋服店 東京市神田區鍋町三丁目廿番地

入院隨意 京城太平町一丁目七十三(太平町大通り) 片山信夫 電話一九五一番

パイン萬年筆 正宗は切れるが故に名高く パインは書けるが故に名高し 堅牢 優美

入院隨意 京城永樂町二丁目(商品陳列館東門通) 酒井婦人病院 電話一六〇〇番 酒井一郎

大木五臟圓 古來榮養食を本位とする我が日本人の體質に最も適當せる理想的滋養強壯劑 本舖 東京市神田區 大木合名會社



痔疾專門 京城明治町一丁目(本町より入る中央) 京城久枝肛門病院 電話二一〇二番

第五版

木炭は豊富 輸送關係が問題

冬季に於ける燃料は米價以上の重要問題の種であるが昨今漸次寒さが迫るに伴れて火鉢の維持費が嵩むで來る、此の冬の木炭は什麼な需給關係にあるかと卸屋で調べてみると昨今では仁川の木炭は品豐富で通例ならば諸物價の騰貴に比例して木炭なども相應に昂騰を見るべき筈であるが一つに需給の關係で此の値段の高下を見るだけに今秋以來一向に高くならぬ、現在の

値頃に 先づ小俵八十錢から九十錢位大俵で一圓三十錢位が安からず高からずの値で家に依ると鮮人の賣りに歩く者から一圓三十錢で買つた者もあれば一圓八十錢など云ふ突飛な値で而も眞實の値頃と思つて買入れた疎い處もある、本年は大體を通じて木炭は

産地に 豐富で唯だ運搬關係さへ圓滑であり得れば差したる需要家の難澁はあるまいと豫想されて居る、現在に於ても尚ほ相應に品物は在るので比較的に安かつたが最も本年は一體に暖かいので需用も激增しないだけに市價に影響を來さぬとも云ひ得るが何にしても品物豐富は突飛な値を唱へぬ一つの有力な材料であらう、産地は本年の米作不振から副業としての木炭製造など割合に多く輸送の如きも鐵の川廻りが自然減少するだけ他の雜貨の搬出輸送は割合に樂になる、更に角結氷を見ざる間は先づ當分木炭は圓滑に行はるると見て差支なく從つて市價も亦不相變した斷騰に過ぎざるべしこの觀察が肯綮に値する（仁川）

釜山と再製鹽 原料塲擴張と請願

南北兩沿岸に製鹽地帶を主として是れ等海産漁獲物に使用する鹽の供給地として一箇年約百五十萬圓の製産額を有し逐年水産漁撈の改良進歩と共に内外の需要增加し順調なる發達を來しつゝある釜山再製鹽業は内地に於ける製鹽事業の不成績と戰後工業の發達に伴ふ工業用鹽の需增等により原鹽の大不足を補ふ可く今回政府のこれら指定商を派して關東州山東省産鹽等各産地に於ける鹽買占の爲め一大補塡を喚ひ一箇年七千萬斤以上の山東原鹽を青島より輸入し以て南北兩沿岸の水産業者及び鮮各地の農家並に一般の需要に充當し來れる當地再製鹽業者の大恐慌を惹起せるが其後に及び此上不足補塡策として指定商人擴張の必要上大正八年度に於ける朝鮮へ輸出さる可き八千萬斤が既に既定總額に達したる理由

今年は豊漁 暖かいから魚は多い

例年ならば霜月と云へばもう防寒外套に襟立て、路行く人の挨拶も寒い言葉が交さるゝ此頃も本年は例外に暖かく仁川では漸く此の十八日の急に迫つた寒さからボツボツ暖爐焚き初めたと云ふ位ひ、今年の氣候が如何して斯麼に暖かいかと云ふと古老の言を欺かず如何にも閏月があつたからとは爭はれぬ月の刻みである、大陽暦では既に霜月半ばではあるが、舊暦で云ふと此の二十三日が漸く十月の朔日に當る、舊暦廢止の今日でも

閏月を心得て居ると見ねばならぬ、暖かいので實際漁業は盛んで好く釣れる、例年ならば十一月になつても相變らず漁業は盛月を以て仁川近海の漁業は終りを告げ漁師は全部天長節を區切りとして悉く内地に引揚ぐるを例として居るが今年の鼻息の荒い事はまだ釣るかと尋ぬればナーニ今年は閏月がある今漸く十月じやないかと答へて居る、成る程閏月は相變らず斯うして居る、今年は年末迄此漁業が續くかも知れないと或は漁業者が云ふてゐる、例年は漁業者も一番喜ぶのは老人と魚類とは妙な對照だが事實魚類迄も今年の暖かさは此儘ならぬ寒暖計が示して居る譯である、暖かいので鮮魚が食へるかも知れないと水産會社での話である（仁川）

慘澹たる滿洲の株界 無謀の貸出をなせる銀行の痛手

一時盛んなりし大連株式界は過日來大暴落を現じ爲めに株式仲買人及び關係素人間にて大痛手を蒙り破産に瀕する者亦尠からざる模樣にて最も不健實なる取引場として目され滿洲證券の如き遂早く休業して整理に着手し株式取引は殆ど休止の状態に陷り延ひて一般市場に沈衰の波及を免れざるべし特に新設會社に無謀なる貸出を行ひたる

某銀行 の如き致命的大打擊を蒙り目下其の善後策として同業者間にて救濟方法を講究しつゝあり元來滿洲に於ける新設諸會社の株は暴騰甚だしく一株式會社の創立さる、毎に其の會社の内容如何に係はらず將來事業成績如何を考慮せず思惑にて必ず拂込みの三四割高にて買され若しプレミヤム付にて賣手無き時は其の會社の重役連は銀行より資金の融通を受け時には銀行と通じて株の買占めを行ひ

任意に 株の相場を釣上げ私かに一面に於て賣り拔くと云ふ風の事が殆どあらゆる會社の裏面に行はれ此の釣上げ策が大規模なれば夫れだけ株の値段は突飛に昂騰するを常とし彼の某銀行株の如きは、五六千乃至一萬株も占有したる發企人があらゆる手段を用ひて釣上げ策を行ひたる爲め公募表前に於て既に

プレミアムは 四十圓乃至五十圓を唱へ之れが募入を受けんとする者の如きは爭つて申込み爲し或る者の如きは同銀行の全株乃ち十萬株の申込みを爲したる者さへありとの事なるが一方拂込銀行發企人と氣脈を通じたる某銀行は拂込金全部を約手にて貸與する旨を陰に口外し元投資者の如き盛んに投資者の煽動に努め一株の拂込み前記の如き

突飛極 まる申込みを受けて如何はしき利得を圖りたる向きも有り其の結果として株式申込者は十日乃至二十日間も其の金を銀行に提供し又は六十圓の日歩にて借受け而して其の割當を受けたる者の如きは三四株の割當を受けたる比々然らざるなく其の利子を比較すれば公募株の利子も抑へ難き破綻を生ずる次第にて其の結果今日の如き悲慘の状態に陷りたる

初めより **四五十圓の價** を唱へしも募集に殺到すると共に値の株を策略を以てプレミアム附にて五六十圓にて賣り放ち殆ど手を引きたる有力者は初めより六七千株も獨斷して無價の一方發企人と稱する有力者は初めに株の一株も餘さざる程なりと此の事なり斯くの如きは前記某銀行に行はれたる極端なる一例なるも其の他の新設會社にも此の種の陋劣なる術策盛んに行はる、を以て一度び其の内面の窓扉を

曝露され 或は株熱に狂したる者の甕底に會し俄然として暴落を告ぐるも亦止むを得ざる結果なり、此の際株の所有者は反動的に再び大打擊を受くべし

修學旅行記 第九通信 京城中學校教員養成所 池田生

秋空！寒い風が吹き荒んで私達は慄はされた。櫻の馬場を拔けると八幡宮、第一に着いた、昔を語り顏に立つて居る。若葉深き花の吉野山で戀しき大に別れた靜が、去りにし人の跡をなつかしむ舞の袖ひるがへす姿はさしもあらくれ男の關東武士の目にも奈何に麗しく見えたとであらう。彼女の一念は四海を平げた賴朝にも遂に一指を染めさしめたが彼女は矢張り運幸の白拍子であつた。あゝ思へば此の一間總しが薄幸の人を以て滿たされて居る。石段の傍らには公孫樹が茲に居たこと言はぬ許りに鍛冶者が終わに立つて居る。政治家として英雄としての賴朝の墓は苔蒸して白旗宮として社に祀られてあつた。商族に合せ祭られしは旧藩ると云ふ手は思ふとも歌筆のみは冷てまじと見ゐたみやびや男行大臣實朝公である。

右に行く事一町。

鶴が岡で向ひ晩なる八幡宮の社殿を拜み、向ひて長谷に至ると道男にお在の寺がある。昔偲べば涙ぐまる。とゞまる一尊の地を去り暫く電車に乘りて長谷に至ると途中に寺の大佛が居られる。時間が有れば佛寺も參詣したり一寸降根の淡き眺めを見て再び電車に乘り稲村ケ崎、極樂寺と七里ケ濱の磯づたひ西北へと進む。片瀨で電車を捨てたここから江の島迄徒歩で渡れる。富士見亭とか名はあるけれども、定めない秋の日和は雨雲りの爲め峰の影を見る事が出來無かつたのは殘念であつた。神社は日本三辨天の一で參拜者の多い事は驚く許り、其の本社の前を賣る店が軒を並べてゐる。伯險なしかも迂遠な路を通つての名高い岩窟神社で打寄する波の音は岩壁に反響してすさまじい、燭を採れば尚奧深く進む事が出來る。

片瀨から再び電車で藤澤まで行つた。汽車の時間都合で國府津に着いて約三時間待つこと、なつたので海岸に坐してはるか神は元山のそれの樣に思はれた。三浦相豆の半島に包擁された相模の灘の入日は實に美しかつた

豐漁＝大漁 鯖と鯛

▼方魚津▲ 昨今慶南蔚山郡方魚津にては鯖の盛漁期にて捕漁者今や一萬六千八三百六十隻の出漁船あり先づ頭の如き一夜に林、新田組の手にて六十萬尾以上の水揚けなしたるが以て漁民は何れも豐漁を祝ひ居れり（方魚津）

▼永興灣▲ 元山附近の漁場鯖の豐漁にて永興灣外より長箭港に至る四十海里の沿海には鯖と鯛の群游頗る多しといふ（元山）

商況

株式

東京現株 至急電報

廿二日中値▲印騰貴△印下落

銘柄	拂込	時價
鐘紡	一〇〇	△二六五、〇〇
郵船	五〇〇	一四〇、〇〇
日新	五〇〇	
東拓	五〇〇	
一新		
日糖	一〇〇	△一二〇、〇〇
東電	五〇〇	

東京株式 至急電報

銘柄	二十二日第一立會	前電比較
東株	四三五、〇〇	四、〇〇安
東鐵	一七六、〇〇	一、〇〇高
一新	一四一、〇〇	三二〇〇安

大阪株式 至急電報

銘柄	二十二日前場寄付	前日比較
大株	四一九、〇〇	一、〇〇高
同新	二五一、〇〇	一、〇〇高
郵船	一四一、〇〇	二、〇〇高
商船	一五七、〇〇	
同新	三九九、九〇	
紡新	三七九、九〇	
東紡	三〇七、六〇	六〇安
東株	一〇六、四〇	
上取	一一九、〇〇	一〇〇安

東來丸引揚 仁川小巷（頭には成功を見るに至るべし（仁川））

殖銀ボンヤリ

殖産銀行株は一時百二十圓の呼聲ありたるも其後の東電は十七圓まで十五圓本日又復十四圓と漸次反動安の姿となり氣配ボンヤリを呈せり之れが爲め當地の出來値も今朝來高値十五圓を出で十四圓より四圓五十錢見當の手合せ多く買氣亦沮喪しつゝあり

朝紡小甘し

一時熱狂的の商盛を示したる朝鮮紡織株も昨日來稍落付模樣を呈し氣配も幾分軟化したるものゝ如く高値四十一圓を唱ふるも仲買取引は三十九圓見當の明細へとなり買氣も一頃の如く旺盛ならず人氣は漸く仁取安値等に移りつゝあり

漢銀株動く

漢城銀行株は現在資本三百萬圓一千萬圓に增資すべく運動中なりし由なるも今日の處實現容易ならず此の樣模あり之れが爲め從來の相場を開かざりし同株も五十四圓に三百二十六枚の手合せあり拂込みのもの甲號四十七圓五十錢に込以下に低落せり

朝紙矼かり

朝鮮製紙株は久しく三十七圓處に釘付けの状態なりしが今朝三十八圓の手合せあり一圓方の引締りを示し氣配聊かり矼りを見せり

電興益々不味

電興は久しぶりの手合せありたるも相場は益々安く十七圓で二十圓に出來せるが尚十六圓處の投物ある由なれど買氣一向引立たず

諸株高の原因

目銀の利上げや輸入税撤廢の軟材料に弱いで更に國際勞働會議に於ける女工の夜業禁止が報ぜらるゝや我國産業の基礎たる纖維工業に於ける女工夜業禁止は之れ實に重大なる問題なるにも拘はらず之等の點を少しも顧慮する處なくして只逆心理作用によりて買氣の殺到となりしが如きは實に不思議と云はざるべきも是は當局者の千涉が米界及三品市場等に於ける株式市場に鑑みる處ありて逆に締り返る結果其の千涉を蒙り居る米界株式市場が久しく伸び悩み居る市場の上方を目標を立つるに至れるは有力なる原因にして又直取引市場の如きも取引所株が立會中止となりしは市場に於ける買氣を向はしめたるものにて軟派を賣崩し、尚も來りて軟派受太刀の處を狙つて活動せしが硬派の策戰は見事に成功せる譯なりと

出來高平均値

銘柄	平均値	枚數
京取	一〇四、〇〇	三
朝鮮紡織	一四〇、〇〇	
漢城銀行	五五、〇〇	三〇〇
京城取引	四七、〇〇	八六
仁川取引	八三、〇〇	一
朝鮮製紙	三八、五〇	五〇
大邱取引	一五、〇〇	
同拂二新	二一〇、〇〇	一五
安東信託	一二〇、五〇	七
朝鮮電氣	一七〇、〇〇	五〇
上海取引	二四〇、〇〇	二〇〇
朝鮮製粉	九三、五〇	五〇
川崎新	四四、五〇	五〇
東亞新	一四四、〇〇	一〇〇
商船新	一七四、〇〇	一〇〇
實業銀行		

安東信託昂騰

安東信託は未だ證券及び米穀の取引を見るに至らざるも最近の銀高に依る收益は著しきものあり同社の前身たる交易會社の取扱に係る銀の取組增加率を聞くに即ち八月中の三百餘萬兩に對し九月は一躍八百二十萬兩さなり十月には一千二百萬兩となりたる等實に驚くべき增進を示し居れるが其後銀價の昂騰尚ほ底止する處を知らざる狀態なれば十一月中の取組高は一層の增進を來し居るべく豫想さるゝに加ふるに同社は近く某々新計畫を爲しつゝあるの聞あり尚ほ社との合併を云ひ何れにしても現在の資本金百萬圓は遠からず三倍乃至五倍位に增資して能率は大に增進し今更ながら

急告

原料及勞銀ノ暴騰ニ依リ爾今製材品モ値上仕候間此段謹告候也

大正八年十一月二十一日

安東製材業組合

北濱だより

八時間制の實施で其後の成行を注視せられた川崎造船所では實施前一萬六千人の職工中平均五千人宛は每日休んで居たそうだが其後は一日一千人の割合となり◆機械の全運轉が可能となつた

米況

其後北米は日に騰貴を示し一面勢成行を見るに至り昨今の見込みは非常に高く鑑むべきもの無きにあらざるも自然に高値に出來するを得ず一時各取引所に於ける相場の手合少なく漸く六十圓臺を維持し居る状態なり

東京期米特電

二十二日前場

限月	寄付
當限	四十三圓三十錢
中限	四十四圓六十九錢
先限	

二十一日後場 四八、七八

大阪期米特電

二十二日前場

限月	寄付
當限寄付	四十四圓二十一錢
中限寄付	四十五圓三十錢

二十一日後場 四八、八〇

神戸期米特電

二十二日前場 四九、二

下關期米特電

二十二日前場 四四、〇〇 四四、九〇

仁川期米

廿二日前場（群衆買）

全朝大候各地入電著しき増加勢物を盛返さんとし期日鮮人氣は益々強硬に立會ひ當日の限月は大ならず買入は勢ひ強く需要頗ぶる多し

▲第一節 當中出來不申先六十三錢より大阪の押し折納一萬石を作中の前場を示し...

▲第二節 當中出來不申先六十三錢安より大阪筋買氣を益々強めて百七十錢に高値を呼び...

▲第三節 大阪筋九圓十錢の高値に乘じ當中出來不申先八十五錢より再び高値の手詰めに突進して先限八十五錢、當中七十錢を唱へて買入れ...

▲第四節 當中出來不申先八十九錢と押して引く

▲第五節 當中出來不申先八十五錢より日の賣附に乘じて押しの賣方は手合せを見合せ...

先限七圓賃現

昨後場阪地入電延著に買方幹部其他の各地入電の報を望みつゝ後場前に至り當中と先限と共に八十二錢と返し一錢と底強く打止めたり

京城正米市場

昨午前入電は正米一圓高と報じ其他の各地又一齊高騰を呈し京城市場も之れに依り更に氣配を添へたるも出廻り依然少く二三日前の百六十圓と云へば此れは當局の調べに依りカクメの買に安い京城市場の取引高は差して增加せず

市場雜觀

昨後場は阪地の氣丈にも拘はらず引際買方連の策戰賣りに場面は軟弱に傾き高値掴みの小手合をして心膽を寒からしめたが此の調子では連騰連騰の買方なれば一段の安値に叩き込むやも計られぬのみか賣人氣に逆戻りし場面は阪地高に牽制されて殆んご高値を唱へ込むやも計ると一時の反動安の結果より崩れたもの

米仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目

電話長四〇、二〇番 略號（アヌ）（カチダ）

	寄付	高値	安値	引値
二十一日	四六、五〇	四七、〇〇	四六、八〇	四六、八〇

仁川正米市場

二十二日 現物一車十九圓五十錢▲新規一車二十錢▲新規二十一車▲古漢陽十二月積一車十九圓▲新京城二十二渡二車二十三圓五十錢▲二月積二車二十一圓十錢

釜山正米市場

内地期米の硬勢に伴れ當地買氣旺盛となり逐に一圓方突飛して新穀良五十圓を突き拔き五十二圓四十錢▲新三等神力は四十九圓四十錢にて六十八叺出來

綿布小戻し（二十二日釜山）

前日の當綿布況は綿糸價格の制限を唱へて棉花業者共の如き相場を維持し居れるの報あり人氣の動搖を來し昨日來落着せ相場は稍安値となりたる模樣

白米先物好氣配

白米は原料米の探算制安なるも各地へ不引合ひの折柄各精米所の買腰弱く市中の卸値は依然五十四圓の値居据りならば先物は大に好氣配を呈し本日は十二月中旬渡し五十四圓二十錢にて一車の手合せありたり

粟人氣買ひ

先づは弱含み持合ひこもいふべき成行きにあり

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞會社代理店 ▲二十二日より最新大寫眞提供 ◎ 悲劇『聖地の露祭の實況』 ◎ 滑稽劇『嫁人の悲劇』 ◎ 太利ケーザリ會社大傑作 居酒屋の踊り娘 全五卷

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇 ▲當る十五日より開演

新派悲劇 殘る花 全六卷 ▲陸軍特別大演習實況 説明者 野村雅延 ○每日一日十五日日曜祭日晝夜開演

九日目讀物 一 水戸黄門記 甲雲軒 一 休間答 讃士 澤虎 一 加賀騷動 山 梅 一 角力と町奴 京山 秀 一 大村家の破亂 京山 福右衛門 ◎ 四國騷動 京山水月

黄金館 黄金町 電話二三七

天然色活動寫眞株式會社 東京一手特約代理店 ▲當る二十一日より大提供 新派悲劇『あけぼの榮』全三卷 ▲喜劇『美人事大失敗』 ◎ 伊太利アンブロジオ會社作 『炬火』全四卷 忍術奴 全卷

浪花館 京城本町 電話二六〇

大ーー座 落語 桂 文 之 助 ▲落語の手踊 桂 小 枝 ▲手品 桂 米 助 ▲音曲 林家 正 之 助 ▲人情噺 橘 家 圓 次 郎 ▲珍品一人角力 森 小 六 ▲笑話淨瑠璃

喜樂館 本町一丁目 電話九七三

▲當る二十二日より特別興行 ▲最新喜劇 大演劇 ▲パークル一の姫君 ▲陸軍特別大演習實況 ▲大久保彦左衛門 國漫遊記

各種硝子 小野玻璃器製造所

京城林町百六十二番地 電話二七九番

弊工場製品は品質本位にして朝鮮原料により製造せしものにて價格最も低廉なり

眼科專門 金井眼科醫院

京城若草町 電話一五五六番 新築落成●入院隨意●日曜祭日午前中

ハカリ印 かぜ ねつ

かぜを治しねつを解くにはハカリ印のヘブリン丸に限る……

ハカリ印のヘブリン丸が速かにねつを解きかぜを治すことは滿天下の實地經驗で明白である……

大阪 合資會社 金天堂

定價十錢以上 家庭用五十錢・一圓

新荷著 ウインチスター四〇一實彈銃 米國製單發銃及拳銃 空氣銃各種紙ケース

鑛山用火藥ダイナマイト 獵銃拳銃獵具類販賣

仁川仲町一丁目 共榮社 電話長七五番 振替京城四五三二番

新荷著（目錄無代贈呈）

京城本町二丁目一九番地 山葉樂器朝鮮總代理店

發賣元 釘本樂器部 電話一二六八三番 振替京城六八四番

てんおう 天授

他に類のなき菓子の樣なモナカ入り 甘味一粒入

主藥は歐米醫科大學にて細研せられ帝國醫學博士も近來專ら使用する藥にて

たんせきぜんそく百日咳感冒大熱

急性肺炎きかんしかたる、いんこうかたる、はしか等の熱病一切に奇效あり、咳出で眠れぬ時一粒を服用して安眠すれば治癒すべし

リウマチス、四季引風頭痛悪寒大熱病に奇效あり

二日分廿錢、四日分四十錢、七日分六十錢、十六日分一圓廿錢

發賣元 大阪高麗橋 東京神田 山崎帝國堂

內科 婦人科 イマモト醫院

旭町壹丁目（京城府廳裏通） 電話二八五二番

伊達騒動

第七十六席　小金井芦洲講演

金兵衛逃出す

何にも知らないから『てしほ』と云ふ狆は尾を振り〳〵件の菓子を、綺麗に喰てしまつた、嬉しさうにお舘の廻りをチヨロ〳〵驅け巡つて居る、そこが畜是ない、綱村公、御菓子が欲しくてならない、すると今まで餘念なく遊んで居た『てしほ』が俄に狂ひ廻つて情なさうな聲を揚げて騒ぎ出す　女中『アレてしほが……何で左様に騒ぎ廻る、御前であるぞ、失禮であらう』犬ですもの失禮なんぞを知るものぢやアない、餘程苦しかつたものと見えて、のた打ち廻つて居る内にガバ〳〵と血を吐いて死んだ、一同居合す人々は互に顔を見合して呆氣に取られて居る、向ふに坐つて居た金兵衛顔へ上がつた　金『これは容易ならぬ一大事、武家の護り神弓矢の神と崇め奉る鶴ヶ岡八幡宮に捧げ奉りしお供へ物を勿體なくも斎年風情に戴かしめたるに由つて神罰は斯の如く覿面なり、此上はお使者に立ちたる某まで如何なる御罰を蒙るかも計り難し、水を浴び身を清め八幡大明神にお詫を申上げなければ相成らぬ御免……』と云ふとお鈴の口からパーッと駈出した　浅『ヤヨ渡邊氏、何をお逃げなさる、お控へ召され』二三の女中が聲に應じて追ひ駈けて見たが逃げ足の早い金兵衛怒ち姿を消してしまつた　浅『コリャ〳〵强て追ふにも及び申さず、ア、油斷のならぬ者である、八幡宮に捧げましたお供物にまで斯の如く毒が配剤いたしあるとは、山本太田の御両所、さぞお驚きでござらうの』両人手を仕へ　甚『へゝッ、お局様の御活眼には實以て手前共感じ入りましてございます』浅『さても〳〵憎くきは金兵衛、なれ共彼を捉迎いをして取押へ糺問いたしたならば容易ならざる一大事が大公儀の耳に入り六十餘萬石の御家名に拘ることも出來やうも知れぬ、殘念ぢやが、是りやア此場限りにいたして咎から、したが御兩所、後に至つて若し渡邊金兵衛がお菓子を拾に勸め奉りしこと表沙汰と相成つたる其時には必ず證人と相成り果れますやうに』甚『エ、モウ照人共の手段に掛りて手前共も相果てまする所を、お局様の御明察に由り斯くの如く全きを得ましてございます、此の御恩は生々世々忘却は仕る間敷く仰せの如く如何様にも證人と相成ります』浅『然らば一札をお認め下さるやうに』甚『畏まりました』料紙硯を借受けて筆を染めサラ〳〵と認めたのは

差上申す一札のこと

一、寛文三年八月十五日渡邊金兵衛殿より君前に差出し候相州鎌倉鶴ヶ岡八幡宮御供物の儀に就き當日拙者共兩人お試み役當番に有之候故御試し仕らんと致せし所其様の御明察を以て御手飼の狆『てしほ』に御試し御申付け被下候處狆は立所に苦悶いたし鮮血を吐いて絶命仕り候を拙者共確かに見屆居候之れ全く其許様御計らひに由り一命を取止め候段難有感銘仕り居候、天地神明に誓ひ聊か相異御座なく萬々一後日此事に就き如何様なると出來仕り候共拙者共何方なりとも罷り出で確に見屆け候段乾度證人に相立可申候後日のため差入申す一札依て如件

八月十五日　江戸芝口御上屋敷お奥に於て　山本甚五右衛門　太田善兵衛

浅岡の局様へ

甚『是れで宜しうございませうか』浅『ア、結構、今日は大儀でありました、下つて休息なされい』甚『へゝッ、有難う存じます』浅『御如才はあるまいが、家中の誰彼に此事口外はなりませんぞ』甚『委細心得ました』甚と二人は退つてホッと一ト息　甚『ごうだ太田危い處であつたの』善『お試し役も有難いお役ぢやアない、アングリあれでやつて仕舞へば今頃は十萬億土だ』甚『浅岡殿の御恩を忘れては成らぬ』『全くだ』深く兩人は心服してしまひました。

日之出商行御名刺部
京城本町一丁目
御一報次第見本送呈

三行詩壇

△
庭に落ちた枯葉の音に
悲しくも矢張り
の子を想つてゐるのだ　仲たすく

評『三句、ゐるのだは强いやうだが餘韻のないのが難である』

△
電燈を消すは寂し
されど明るさみ眠ふ
惱む儘『明日』をのみ待つよ　花翁生(仁川)

評『近代味のある若想が妙』

△
落葉にそそぐ雨音に
いと冷たきは我戀—
蒼き想ひの浮かぶなる

評『全體の氣分にノーブルな處がある』

△
冷たき戀
闇の沈黙にて
秋雨のむせぶ夜を—　草人

評『花翁君は三行詩に對して何物かを秘めてゐる確に素質がある』

△
空しさに續く日日—
風呂と飯にのみ
聽てウト〳〵眠る迄なる

十一月廿四日

(舊)十月三日　月曜日▲かのへたつ▲八白　日曜御るしさらさろ(東北)▲赤口▲畢▲さなる

▼八白▲深入を注意すべき日也
▼九紫▲生きる事を注意すべし
▼一白▲注意せば成功する日也
▼二黒▲労前を考へて爲ば吉也
▲三碧▲空にみ抱く慎むべし
▼四緑▲裏表ある日注意すべし
▼五黄▲焦せらざれば成就せん
▼六白▲意外の喜びごこある日
▼七赤▲消法に好き日安進注意

十一月二十五日

(舊)十月四日　火曜日▲かのとみ▲七赤▲破　西▲先勝特▲破

▼七赤▲兎角纒りのつかぬ日也
▼八白▲親しみある戀はしき日
▼九紫▲不平の起る日なるべし
▼一白▲諸事進んでなすに吉也
▼二黒▲華美にて賑やかなる日
▼三碧▲間違へをなす事ある日
▼四緑▲力味察のせざる日なり
▼五黄▲笑て暮し得る愉快な日
▼六白▲親しみのある懐しき日

日　耳
實傳○世はぴんからきりまで○醫者役者ぴんからきりまで○醉者易者ぴんからきりまで……見料隨意……
永樂町一丁目　均陵庵

結核專門　古賀病院　[illegible]

中古品上等　廿五磅廿磅取合　八百圓　レール
汽機　汽筒徑ストロック拾一吋十四吋　壹台
同上　汽筒徑ストロック六吋十二吋　壹台
クレオート　防腐劑　販賣
大日本防腐劑會社代理店
割安に販賣す御商談を乞ふ
京城南大門通五丁目
諸器械金物商　中村幸商店　電話三七一番

命知らず實用品
三点一組　十五圓均一　(甲斐絹羽裏一　純絹絹銘仙一　縮緬兵兒帯一)
四点一組　九圓均一　(正花裏地一　寶銘仙一　朱子紋織九寸一　實用綾兵子帯一)
尚ほ今回に限り各位の御愛顧に報ひん爲左記組立品を御一名一組限提供仕候間御下命の程願ます
下野國足利町　振替東京四四二八八番
織物製造販賣　倉長勝織物合名商會

織元から
美術的優秀品
多數仲立商人の手を經ず直接買ば三割以上安いのみならず流行珍柄及び品質の堅牢なる品を得る事が出來ます物價騰貴の今日家庭經濟上是非御試しの上永久御取引の程願ます購買希望者は男女縞柄御明記の上申込れたし
特製純絹高貴十四圓ヨリ十八圓迄
純絹本場銘仙　甲十三圓　乙九圓半
節糸銘仙　甲十八圓半　乙七圓
選抜御召　甲十五圓　乙九圓
純絹大島絣　甲十七圓半　乙十圓
新大島絣　甲八圓半　乙七圓
錦紗御召　甲十二圓半　乙十一圓半
絹変銘仙綿　甲六圓半　乙五圓
實用銘仙絣　三圓七十錢　乙三圓四十錢
不多多羽帯　甲十一圓　乙九圓
紗二重模様女帯　甲五圓　乙四圓半
特製甲斐絹羽裏　三圓
縮緬無双絹袢　甲四圓五十錢　乙三圓三十錢
綾子羽織裏

純質廉價を兩脚とする
品質本位
花王石鹸は
その信用に於て—斯界の獨歩者
その賣行に於て—業界の大選手

クラブ歯磨
新時代の歯磨
智識階級の方々は今や悉くクラブ歯磨の愛用者

[illegible]

京城日報 第五版

利上の影響
高橋藏相談

日銀利上の理由は日銀にて發表したる通りであつて此利上けは一方面に影響あり殊に投機熱を冷却さす効能あることゝ思ふ元來何等の効能などは海外事情に通ぜざる者の多い爲か財界目下の狀態が何時までも繼續するもの考へて居るらしい併し乍ら講和條約も未だ全部の關係國が批准を濟ました譯でもなく何時から實行されるのかゝ不明であり且つ歐洲諸國の復舊は一に米國の資金及物資供給如何にかゝると云ふ有樣だが如何に米國こそ供給する事も獨逸やバルカンの如く政治財政の情態が不定にして何時個人の財産が沒收されるかも分らない所に於ては資産家が金を貸すことは出來まいし個人間の特殊關係をたどりて資金を何收の見據の付かない所に資金を供給する事も何時まで資産家であるかどうか見當が付かず從つて如何に親密の間柄なればとて是れに對して資金を供給することは出來難からう斯の如く歐洲の財界は尙安定したるにあらず何時如何なる變動が起るかも測られざる有樣であるのに我實業家が我國目下の財界の情態を以て何時迄も繼續するもの、如く考る者の多いのは不健全と謂ねばならぬ由來我國の金融業者は投機資金と商工業資金の區別をしないが之を以て我金融上の一大缺陷と認め銀行倶樂部の集會などに於て再三これを指摘し金融業者の反省を促した事がある紐育などでは投機資金と商工業資金とを峻別し此處で云ふコールローンは倫敦など、異なつて投機資金の謂である此コールローンの利子は時として二割三割にも高める、事があるが其爲に商工業資金の利率に影響なく商工業資金はコールローンの騰騰にか、はらず落付いて居る夫れ故銀行家は商工業者に打撃を與ふる心配なく投機市場の模樣如何により投機資金の利率を引緊め以て投機の撲制を試むるとが出來るのである又紐育の金融業者は株價が昂れば昂るほど是に對する資金融通の割合を遞減する例へば鐵道株が五十圓の時は是に對し八掛まで融通しても百圓に騰貴すれば五掛しか融通しないと云ふ風にする其故に投機をする者は其差金丈自分の懷から出さねばならぬ事となり從つて自己の資力以上に投機をする事が出來なくなる然るに我金融業者は株價は昂れば昂るほど是れに對する信用を增加する郵船が百圓の時も八掛の融通をすれば夫が百五十圓に昂つても二百圓に昂つても矢張り八掛だけの融通をすると云ふ時によつては九掛位まで融通する其爲め投機をする者は自己の資力以上の投機をなすことを得自然投機熱を助長することになる是れは獨り株ばかりで無い米でも綿絲でも他の商賣でも同樣だ是れでは思惑熱の熾烈になるのも當然ではないか金融業者の此態度が改まらない間は投機抑制の爲めにする金利引上は單に投機資金を引締むるのみならず同時に商工資金をも引締むることになり商工業者に迷惑をかけることが有つても已むを得ない日露戰後久しく日銀の金利は市價と沒交渉だと云はれて居たが近頃預金協定の成立、銀行引受手形及びスタンプ手形制の開始などに依り日銀金利も餘程市場と關係を持つやうになつて來たから今回の金利引上は相應の影響があることゝ信ずる(東京)

モントリールより
第(三)信 井上致也

◎此種の踊りはパブリツク、エンターテンメントとして別段差支はないかも知れぬが御承知の通り西洋で云ふ所は餘程ダンスが弘く行はれレデーとか云はる婦人にしても誰彼れの容赦なく男を抱擁して無遠慮に踊り狂ふは甚だ不都合と云ふべく道徳上から之れを觀ても誠に宜しからざる事と存じ候太平洋の船中に於ける毎夜此のダンスには不妙惱まされ候就中老婆が廿代の若者を捕へて踊れる時等思はず嘔吐を催し候踵を浮かして踊るので舞踏靴は皆踵を非常に高く且小さく作り之が又妙に舞踏以外の通常靴に流行し頗る歩き難く自然腰にて調節して歩く必要上腰をフリ〳〵歩く態は實に見苦しき極みに候西洋では或は之れが意氣なものかも知れ申さず候へ共少くも健康上より見れば有害と存じ候◎一部人士の中には之れを罪惡視し憤慨するもの之れ有りやに聞き居り候小生等で一英人に日本のレデーは公開の席上で踊ると云ふことは無い況んや男を擁して踊るなどは絶無だと申し候處然あるべきこと、首肯し此頃一部上流家庭では成る可くダンスを差控へ居ると云ふことに候こちらでもさもあるべきことゝ云ひたき所に候一方婦人が事務員として盛んに活動せる國にてこんな靴では到底堪へ得らるゝ所でなく漸次踵の低い靴を用ゐる傾向に御座候店頭多くの舞踏靴を見受け◎十月三日午後一時より自動車を飛ばして四哩許あるグランドへ(所の名は忘れ申候)野球試合を見物に出掛け候小生は野球を好愛するものにて市俄古へ來た主要の目的の一ッは此の試合を見る爲めに之れ有り候ことを白白致し候最近日本でも中々盛んになり貴社の如きも大いに力を之れに盡さるゝは同慶の次第にて感謝致し居る處に候盛んになると色々の弊害が又之れに伴ない起り來るので一部の人の中でも多少警戒する方も之れ有り東京等では野球撲滅論者さへ之れ有るやに聞き及び候併し之れは野球に限らず總て物事は同樣で得失相伴なふものに候のみならず其多くは野球其物の弊害にあらずして相當方法を以てすれば矯正すること敢て難きに非ずと存じ候之れが爲め野球を排斥するは小生の取らざる處に候

生別死別
‖(不許無斷興行)‖
服部硯月

第五三 繪の出所

『お前が繪を買つたと云ふのは此の家か』

一人の巡査が先刻の米屋を連れて砥上の門標を眺めつゝ斯う訊ねた。

『へゑ左樣で……』

『御免！頼みます！』

玄關に訪ふ聲に應じ山田は取次に出た。

『御主人は御在宅ですか』

『はア、どう云ふ御用件で』

『先刻警察に來られたのは貴郎でしたか』

『はい、私で御座います』

『其件に就き繪を買つたと云ふ者を連行しましたが、少々御主人にお尋ね致し度い事が御座いまして……』

『左樣ですか御苦勞樣です、鳥渡お待下さいませ、奥へ伺つて參ります』

山田は奥堂に通つて、今夕飯を喫べ了つた晃に此旨を取次いだ。

『よし、一寸出て逢はう、應接間に通して置け』

『承知致しました』

山田は玄關に出て來て

『どうぞ此方へ……お穿物は其處で宜しう御座います』

『では御免蒙ります、お前も中へ這入れ』

米屋も巡査の後に隨いて怖々入つた。

『私が當家の主人で砥上晃と申します』

『私は警察の者ですが、今日途中でお買取りになつた繪の事に就きましてお尋ね申したい事があつて伺ひました』

『種々とお手數を煩はして相濟みません』

『一寸其の繪を拜見させて頂きたいのですが』

違ひ棚の上から晃は卷物を取つて渡した。巡査は半分計り擴げて。

『オイ重吉、お前の買つたと云ふのは此の繪に相違ないか』

『へゑ〳〵、此品に全く相違御座いません』

『幾金で買つた？』

『八圓五十錢で……』

『御主人に伺ひますが、夫れに相違御座いませんか』

『はア、其の通りです』

『お前は何處で此品を手に入れた？』

『へゑ、それは其の、あの……』

『ね、何處でだ？』

『へゑ、其の夫れがあのう何なので』

『何を云つてるんだ、明瞭云はんか、夫は其のでは分らん』

『夫れは其の何なのです、私一人で求めたのでは御座いませんので』

『二人でも五人でも構はん、何處で手に入れたのだと聞のだ』

『夫れは今一人の男が能く承知して居ります』

『すると何か、お前は全く知らんと申すのか』

『い、ゑ、全く知らんと申すのではありませんが……』

『では何だナ盜んだ品物だナ？』

『いゝゑ滅相もない、決して盜みなんか致しません、ちやんと本人の承諾を得たものです』

『本人の承諾を得た？、然らば何處で買つたのかと聞けば、他の者が知つてると云ふ、明かに出所を云はんぢやないか、それならば怪しい品物に相違あるまい、明かに答へないと、止むを得ず拘引せんければならん元日匆々留置されるのも緣起ではあるまい、どうぢや？』

今迄優しかつた巡査は漸く態度が改まつて來た。

三浦での元氣は何處へやら、米屋の重吉は青くなつて震へ出した。

ロータル萬年筆

◎字探し募集

問題 何んと云ふ萬年筆を使ふて居ますか？

賞 正解當選者一人一本限り A號定價壹圓四拾錢ロータル萬年筆合金ペン附屬品付五百本提供

解答及選 ハガキに限る、宛名大阪東區下味原町ロータル萬年筆製作所 〆切本月三十日限り 各員立會先着順に當選者に通知す

主趣方法 本品は今回始めて社會に生れた新案品にて從來のインク止式と異り內部の構造二重吸上り式裝置の吸入自在なる理想品なり其の最大の特色(?)を世に紹介せんが爲め御使用者の御高評を募集致し前記に當選者に三十錢の郵便切手を附して送る事と致し候

相川政市(二十一歳)
右者七月十七日不都合ニヨリ解雇仕リ候處時々各所ヨリ御尋ネ相成リ候得共弊店ト何等關係無之候間茲ニ紙上ヲ以テ廣告候也
中島印刷所

半島唯一のゴム専門業

A

各種自轉車タイヤ
人力車(空氣入)タイヤ
其他ゴム製品一式
金太郎印 ゴムマリ

角一ゴム合資會社代理店
角一商店
京城南大門通二丁目 電話長六〇九番 振替京城三三四二番

謹告

朝鮮釜山に株式會社明治屋と稱する弊社と同一商號を使用の商店有之候處右は弊社と關係無之全然別個のものにて當社在鮮支店は左の壹ケ所に有之候

京城府本町一丁目廿八番地

右爲念謹告仕候也

宮內省御用達
キリンビール發賣元
洋酒洋食料品
洋食器具販賣
株式會社 明治屋
本店所在地 横濱
支店所在地 東京、大阪、京都、神戸、名古屋、門司、金澤、京城、福岡

建築設計製圖
京城旭町二ノ七二 相澤工務所 電話一四六五番
△諸材料聚集の際經濟的建築をなさんとせば是非建築設計を要す尙地方よりの申込に對しては實費出張可仕候

日本自動車學校
實習本位三ヶ月卒業運轉手技術者養成卒業生收入頗る多し
每月一日新學期開始 東京蒲田驛前日本自動車學校 學則申込

日本製麻株式會社

營業品目
陸海軍省 麻布
遞信省 被服地
鐵道院 布管
滿鐵會社 織糸
各造船所 縫糸
指名御用 疊糸

新銳理想 最大工場
品質優良 輸出旺盛

本社 東京市麴町區有樂町一丁目一番地 電話本局(二八三〇、二八三一、二八三二、二八三四)
大阪支店 大阪市東區高麗橋詰町四十八番地 電話東(長)三五七八番
北海道支店 北海道札幌區北二條西二丁目番地 電話一貳二九番
赤羽製品工場 東京府北豐島郡岩淵町字赤羽 電話赤羽八番

日本製麻會社製品販賣店
雨覆天幕日除類其他製作販賣及請負
期日正確 裁縫丁寧 在庫豐富 價格低廉
東京合資會社高島屋商店代理店
カナヘ商會 電話龍山一五一番
龍山シート製作所
工場 京城府龍山元町二丁目五二

三省堂發行
日本百科大辭典完成會

日本百科大辭典

編輯總裁 大隈侯爵 執筆者 當代之專門大家五百五十名

日本出版界の最大權威にして明治大正を長へに記念すべき大著

總革製四六倍版。總紙數一萬五千頁
總語數六萬五千。挿入繪畫七百餘種

全十巻(索引付)

完成記念特價金二百五拾圓 (定價金三百八十圓)

◎二十有餘年の歲月と一百萬圓の資金を投じたる本書の完成を記念すべく茲に最終の特價提供をなし爾後斷然絶版とす

▼注文殺到し殘部僅少に付即決御申込を要す

◎申込所
東京市牛込區新小川町二丁目四番地
日本百科大辭典普及會
振替東京三五〇〇〇番 電話番町四六七五番

定價 一ヶ月 ... 廣告料 ...
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

滯貨資金回收
既に半額以上

[illegible]

十時間制提議

日本政府委員は一日十時間一週六十時間を最大勞働時間として提議しつゝあるが十六歳以下の勞働者に對しては八時間を最大限とする除外例を設くるものなりと(華盛頓電報)

勞働會議終了

國際勞働會議は十一月二十七日を以て終了すべく日本委員は明年一月八日コレア丸に便乘して桑港を出發すべし(華盛頓電報)

瑞米關係險惡

瑞西と米國との關係は險惡を告げ華盛頓陸軍省は在瑞西米國大使と米國大尉二名を十一月十日チューリッヒに於て逮捕したる件に關し調査を命じ且つ戰時中瑞西の有名なる實業家が虛僞の賣込契約に依り米國より四百萬フランを詐取したる詐欺物件の押收を命じたり(巴里電報)

塞耳維復員中止

塞耳維は復員を中止せり(倫敦電報)

對勃條約調印

聯和最高會議は十八日對勃條約は十七日ネイースルーセスの町役場にて調印せる旨發表せり(巴里電報)

佛政府派大捷

總選擧投票の結果は首相クレマンソー氏の諸政策に對する著しき權利と極端派のたゞ敗北を示せり(巴里電報)

武力干涉中止 公交

聯盟諸新聞は露國に對する武力干涉を中止する事に同意せる佛國の公文を掲載せり右は露國過激派が同國帝政時代及びケレンスキー時代の負債を承認する事に同意したる結果なりと傳へらる(巴里電報)

新興國同盟計畫

エストニア、芬蘭、波蘭等の新興國は同盟計畫を擬しつゝあり(倫敦電報)

煙酒借款延期

米國資本團と支那側代表徐恩元氏との間に締結調印せる二千五百萬弗の煙酒借款に就ては四國側より抗議有りしが爾來米國側にて考慮の結果右借款は更て無期延期とする事に決定せり(北京電報)

外蒙古自治取消

外蒙は完全に自治を取消せり(北京電報)

福州事件顚末

支那學生の暴行、非彼れにあり 兎角の風評は取るに足らず

福州事件に就き其眞相を聞くに福州に於ける排日行動は十月下旬頃より險惡の氣味ありしが折柄邦人が天長節祝日に提灯行列を行ひたるに端なくも支那學生の反感を買ひて學生等は邦人輸送の貨物を燒棄し又は取押ふる等危害を加ふるより帝國領事は支那官憲に交渉したるに官憲は單に形式上の回答を與へたるに過ぎず茲に於て邦人及び臺灣人は自衞上貨物に監視を附し若し支那學生が我が貨物を奪はんとする場合は其の學生を支那官憲に引渡す等の手段を執るべき計畫を講じたり然るに十六日臺灣人五名監視の下にレース絲三箱を運搬中午後五時頃青年會館附近にて支那學生三名來り是れを取押へんとしたるより監視の任に當れる臺灣人は學生を毆り其の學生を巡警に引渡し一先づ落着せり然るに此の事を聞きたる臺灣人四名日本人數名は現場に馳け付け數百名の支那學生亦現場に來りて茲に衝突起り双方より發砲し不正巡警の一隊も是れに加はり其の結果巡警一名死亡し支那學生、邦人、臺灣人は數名の負傷者を出したるが遂に巡警の手によりて鎭靜に歸せり而して此の事件に關し帝國官憲は成るべく寬大なる取扱を爲したるが支那側は是れに就て兎角の說を爲しつゝあるも右風說は全く事實無根なり(東京特電)

軍艦派遣中止要請

福州學生暴行事件に關し日本領事より在留民保護の爲め軍艦派遣方を本國に請求せりとの報あるより支那政府は外交部を通じ我公使に對し暴行學生に對しては支那官憲に於て十分是れを取調ぶべきに依り日本より軍艦を派遣することは見合せられ度しと述べ來れり(北京電報)

驅逐隊派遣見合

福州に急行の命を受けたる第二十一驅逐隊の『櫻』『橘』は其の後同地の形勢平穩に歸したるを以て一先づ馬港に赴くこととなり『樺』『桐』の兩艦と共に廿一日佐世保發馬港に向へり(佐世保電報)

綿絲布と移入稅

朝鮮は暑不撤廢の意嚮 林總督府關稅課長談

總督府が曩に物品輸出制限に關する府令を發布せるは戰時中工業原料輸出取締に關する規程中不必要なる品目を除き內地に於ける綿絲の輸出取締に關する規程に移入綿絲綿織類の再輸出を防止するに過ぎず朝鮮より輸出せらる可き綿絲綿織の數量は微々たるものにて云ふに足らず從て影響の見るべきものなし、然るに今回中央政府は

物價調節策として更に綿絲布類及び大豆、牛肉、鷄卵の輸移入稅免除を決行せんとするが如く傳へられつゝあり之れに關聯して朝鮮に於ける輸移入稅免除如何は目下考究中にして總督府としては未だ態度確定し居らざる次第なるも元來綿絲布に於ける朝鮮と內地とは全く正反對の位置にあり即ち內地は生產地にして其の輸移出すべき數量は我國貿易品中重要なる地位を占むるものなるに朝鮮の綿絲布は總て內地より移入せられ反對に輸移出品無き有樣にして從て內地と朝鮮とは

關稅政策上 其の施設を異にせざる可らざる譯なり故に內地に於いて之れ等の輸移入稅を免除するも殆ど關稅收入に影響を生ずる事なきも朝鮮に於て綿絲布の移入稅を免除することとせば關稅收入の激減を來し歲入に影響する所大なるものあるを以て總督府としては直ちに之を斷行し難き事情あり今年十月末現在に於ける綿絲布の輸移入總價額を見るに昨年は三千百七十七萬餘圓本年は一般經濟界の活況に伴ひ需要増進し既に十月末に於て五千二百萬餘圓(內綿絲綿布八百萬圓)に上り年內には

六千萬圓に近からん

とする勢ひにあり之より生ずる關稅收入約四百萬圓(輸移入稅)を得べく關稅收入中最も多額なる部分を占め之が撤廢は相當苦痛とする處なり然れども社會政策上尙此の收入を撤廢するも輸移入稅を撤廢せざる可からざる理由のあるあらば無論其の擧に出づべきも然らざる限り撤廢には至らざるべし又朝鮮が綿絲布に對し輸移入稅を存置するが爲め內地に比し割高なるは當らず何故なれば內地に於ては綿布類に對しては消費稅を課せられつゝあるも輸移入綿絲布は之を免ぜらるの特典を有す 唯輸移入稅は從價稅にして消費稅は數量稅なる關係上價格の高下に依り利不利の割合を異にするも大なる不利益は寡り居らざる筈なり況んや內地に於ける騰落に朝鮮の綿絲布界が左右さるゝに於ては先づ內地に於ける調節を策せば自然朝鮮に及ぶの道理なるを以てや綿絲布の外內地に於ける牛肉の移入稅は曩に免稅せられ大豆(關稅定率每百斤七十錢)及び鷄卵(同每百斤六圓)の免稅實施の曉は朝鮮よりも相當の移出を見るに至るべし

私鐵懇話會規約

最近東京に成立し本部を京城に支部を東京に設くる事となりたる朝鮮私設鐵道懇話會の規約左の如し

第一條 本會は朝鮮私設鐵道懇話會と稱し本部を京城に支部を東京市に置く

第二條 本會は會員間の連絡を謀り同業者共通の利害を攻究し運輸交通機關を發達せしむるを以て目的とす

第三條 本會は朝鮮に於ける私設鐵道會社を以て組織す

第四條 本會の事務を處理せしむるため幹事三名を設けその任期を一箇年とす

第五條 幹事は抽籤を以て各會社順次其の任に當るものとす

第六條 本會に相談役若干名を置く事あるべし

第七條 省略

第八條 本會は毎年春秋定時集會を開き必要あるときは臨時集會を開くものとす 幹事は協定すべき事項ある時は之れを本會に申出づべし

第九條 本會に於て多數を以て協定したる事項は特別の事情なき限り之れに從ふべきものとす 表決權は出席者の多寡に係はらず一會社一箇とす

第十條 會員は營業の實況其の他の事項に關し本會より其の報告を求めたる時は差支へなき限り之れに應ずべきものとす

尙ほ十四日同會の出席者は左の如し

朝鮮森林、大川平三郎、田中榮八郎▲長谷川太郎吉▲兩江拓林 福原俊丸▲岡本文介▲西鮮殖鐵 秋田貞次郎▲朝鮮京南 坂上貞信▲朝鮮興業 津田鍛雄▲安東義衛▲朝鮮中央 佐藤潤象▲和三郎 鈴木萬四郎▲金剛山電鐵 久米民之助 加藤田清經▲南朝鮮鐵道 長崎英造▲朝鮮產業鐵道

物價調節困難

美濃部鮮銀總裁談

美濃部鮮銀總裁は豫て東上中の處二十二日夜歸城せるが其の談に曰く

金利引上問題 內地の財界は依然として好調を呈して居る然し最早此以上の高潮は望み難いと思ふ金融界の如き餘程引締つてコールは無條件日歩二錢三四厘を唱へて居る今回日本銀行の金利引上の如きは吾々には全くの不意打ちであつた大藏省の說明する所によると金利引上を旣定して掛つたのではなく全く財界四圍の現勢に順應して引上を斷行したのだと云ふ夫故今後財界の狀勢に依つては再び引上を見ることがないとも言へぬが先づ當分は引上を見ることは無からう尤も財界の好調は一點から好調を呈すまい然し金利の一點から好調の一角を崩すのではないかと思ふ株式の如き相變らず地方に對する賣行きは良好であるが銀行は此の方面の貸出しを緊縮して居る日銀の金利引上の結果朝鮮でも之に準じて引上げなければなるまいと思ふ

物價調節問題 政府當局にても隨分物價調節には苦心して居る所なるも何しろ米は高くて困る、家の懷合は良好であり又勞働者は專ら給料の高きを望んで居る、或る勞働者の家庭が三越に於て猩々緋を購ひそれに十五圓を投じて絨紋を注文したと云ふ好例であるから物價調節は容易に行はれ難い然し現今物價騰貴の原因は一般に生產減少に在る、それで一般に奢侈の風を警め先づ上流階級が贅澤の範を示し漸次各階級に其觀念を強化せしめ所謂消費の節約をなすが一見迂遠な樣であるが行何なる方面にも何等の不利益を與へず案外に効を奏するであらう

商議會頭問題 京城商業會議所會頭は兎に角に京城の土地に馴れた人物が然る可しとの考へを持つて居る殖銀の三島氏の處へ健康が許せば適任であらうと過日釘本氏に面語した時も同氏自身會頭に就かんことを勸めた次第なるが予の立場としては重ねて地共に密接なる關係ある故間問題の一致を見なかつた場合には決定に困難を惑ずると思ふ

京城府決算

京城府大正七年度歲入歲出決算は愈々此程完了せり右に依れば歲入豫算額六十萬零五千五百八十圓にして之に對する調定濟額は六十三萬四千四百一圓十錢を豫算したるに六十二萬七千三百八十八圓九十錢の收入六千五百九十五圓四十二錢の缺損八百六圓七十八錢の未收入金の成績を示せり今之を府稅にのみに就きて見るに豫算總額三十一萬四千二十圓に對する調定濟額は三十四萬六千五百五十八圓四十五錢を調定し之に對する收入額は三十四萬二千二百四十六圓五十三錢缺損額三千八百五圓六十錢未收入額六百六圓三十二錢の成績を示せり

現株市場合同乎

當局兩出願の併合を勸告

京城現株市場は釘本藤次郎氏を發起人總代とし各地會議所關係者並に他の有力者を發起人とする資本金**二百萬圓**の計畫を先願とし一任文次郎氏を總代とし朝鮮人有力者に內地人有力者を加へたる同資本額の後願あり該出願に對する總督府の詮議は略ぼ終了の模樣にて**定期の取引にあらざる現株賣買市場の公設は必要なりとの見地より許可さるゝもの**ゝ如きが聞く所によれば總督府の意向は先願たる內地人のみの計畫に許可を與へず又後願たる內鮮人合同の分も認めず結局兩出願を打つて一團とする乃ち**內鮮人有力者を發起人とすべき計畫**を許可せんとするにある如し總督府某首腦は二十一日後願人代表者李允用男計畫代表者たる任文次郎氏に合同を勸告して許可を仄かし釘本氏等にもその旨を傳へしとの說あり旁て(一)兩出願を一應却下して新に**內鮮人大同合**の新會社計畫を生み出しむべきか(二)先願の計畫に後願者を加ふべきか二途その一に據るべきが各合同に就ては錯綜せる鮮人的感情並に利害の阻隔あり假にその曩進行は困難なるやに噂せられ更に資本金の變更說株式の分配方法公募問題の條件等前途多あるにつきその具體化は時局の爲め困難なるべきも內鮮人の融和提携は經濟上の帶を緊くするを以て第一義とすこの意味より當局その合同を勸說するもの如く**一般の輿論**も亦內地人のみに偏せる計畫は面白からずと云ふに傾きつゝあるに似たり

墓地取締細則

過般改正を見たる墓地規則に關し京畿道に於ては道令第拾三號を以て墓地火葬場及埋葬火葬取締規則施行細則を發布せり右に依れば墓地火葬場埋葬及火葬取締規則第一條第二項但書に依る願書には第一號の場合に在りては其墓地內の墳墓數並に墓籍を第二號及第三號の場合に在りては各其の事由を明かにすべき書面其他の必要なる書類を添付する事とし規則第十二條の規定に依り埋葬又は火葬認許證を受けんとする者は死亡者の本籍住所氏名生年月日、死亡年月日死亡の場所、醫師死亡診斷書、死體檢案書又は警察官吏の死亡證明書若くば死產の死產者の住所死胎檢案書、埋葬又は火葬の場所等土地の狀況に依り是等の書類を得るに困難なる事情ある場合は區長警察官吏又は二人以上の連署書明を以て之れに代ることを得とし府面以外の者共同墓地を設置せんとするときは管理者を定めて出願し管理者を變更したる時は其の住所氏名を五日以內に道知事に屆出づ可く又共同墓地の使用料又は火葬料を徵收せんとする時は其額を定め道知事の認可を要し共同墓地の管理者又火葬場の經營者若くは其使用人は認可を受けたる定額以外に金錢物品等を請求する事を得ざる事と爲せり

敎育功勞者規程

學務局にては敎育功勞者に對する褒賞の一方法として敎育功勞者表彰規程制定の議あり既に成案なれるを以て近く發布の運びに至るべしと

火藥取締講習

火藥取締に關する講習會は十二月一日より向ふ一週間府內永樂町法政研究會內に開會の筈なるが出席者は各道警務部主任及び仁川釜山群山木浦鎭南浦新義州元山各警察署の火藥類取扱主任約二十名にて講師は安藤技師並に其筋の專門家數名ありと

西村局長出張

西村殖產局長は二十二日附往復一週間の豫定を以て慶尙南北道管內に出張を命ぜられたるが二十四日午前十時南大門發釜山に向け出發同地に一泊すべし

柴田局長視察

柴田學務局長は來る廿四日より約十日間の豫定を以て平安北道に於ける學務視察の爲め出張すべしと

野口技師外遊期

總督府農務課產業技師野口次郎三氏は曩に歐米各地へ出張を命ぜられたるが氏は十二月四日京城出發東上便船を俟ち橫濱より出發米國に渡り英國を經て歐洲大陸各地に於ける緬羊及び牧畜の狀況を視察すべしと

辭令

今回左の通り辭令ありたり

總督府技師 中村新太郎

任京都帝國大學助敎授(四等)

◎龍山巡查試驗 龍山署にては二十一日午前九時より巡查採用試驗を施行したるが志願者十七名ありたり右成績は道第三部にて調查し合格者は十二月一日より採用すべしと

人事消息

▲須藤京畿道第一部長 小川道警察部長を隨へ往復四日間の豫定を以て開城長湍坡州各郡管內狀況視察の爲め二十二日朝出發

▲時永浦三氏(前務局事務官) 來る廿五日頃橫濱解纜の汽船にて渡米す可きに付務局及び京畿道第三部の高等官並に朝鮮殖產銀行幹部は二十二日夜同氏を千代本に招待し送別宴を張れり

▲田中遞信氏(李王職事務官) 二十一日夜釜山上陸十一時發列車にて北行(釜山特電)

烏瞰錄

▲最近議論紛糾して居る米價問題に二問題を有つて居る平壤の無煙炭田の埋藏量は總督府囑託の專門學者の調查に依ると約四億噸と見積られて居る▲すると將來朝鮮の需要百萬噸以上に上ると見て其の全部を平壤炭田より採炭するとしても七八十年の命脈はある▲ところが石炭の埋藏量見積りと云ふものは地下一千尺を標準としてあるので實際は此の四億噸全部掘つて了つてもまだ其の下に幾程の埋藏量があるか判るものでない▲九州炭田の命脈盡きたと云ふ言葉は數年前から學者の口に唱へられて居たが現今炭價の騰貴に伴れて炭坑掘はドン/\掘下げて居る▲而し如何時が終りだか實際はわからぬ▲學者の話と云ふものは參考にはなるが實際とは遠い事もあることは鑛務課某技師の談▲某局長が赴任當時部下を集めての訓示は十五年前北海道の理事官として赴任した際の訓示と一字一句違はなかつたには驚いた▲こは當時北海道で其の部下であつた某氏の話但し其の記憶力の確かなのに驚いたのか何うだか▲西村局長の大和町の官舍は評判が廣々とした間取りと云ひ庭園の風情と云ひ申分はないが只之程の家に倉庫が無いのは物足らぬとの御託宣▲其處で某氏の曰く成程局長の家には御用のものは平常は殘つてあるので倉が必要な譯かも知れん良吏は深く藏するかね

定例休刊

今二十三日は新嘗祭に付き本日の夕刊並に明二十四日朝刊は定例休刊す

收租社重役 [illegible] 以全部完成 [illegible] 大阪商議選擧 [illegible] 大阪棉米綿況 [illegible] 神戸期米特電 [illegible] 大阪 [illegible]

滿鮮染料工業株式會社株式募集

事業の由來 染料を大別して植物性及鑛物性となす、而して各種染料共獨特なる用途及市場を占有することは勿論なり、朝鮮特產『シンナム』楓は我が堅牢なる黑染用として原葉の儘支那に輸出せらるゝ數量逐年增加し年額三百萬斤を超ゆるに至れるは新義州稅關統計の示せる所なり、偶々朝鮮總督府中央試驗所長豐永眞里博士に依り完全なる『シンナムエキス』の製法發見さるゝに及び運搬貯藏等在來の不便一掃され使用法の簡易と價格の低廉なると相俟ち世界的染料として從來の用途の外染色用『タンニン』劑として內外の需要旺盛なり

會社の目的 吾社は玆に新義州驛頭五千坪の地を劃し本染料製造の創始者獨占者にして現在年製產額壹百萬斤を有する建興公司染料工場を買收し其の事業を繼承すると共に殆ど無限大なる原料及販路に適應して擴張の歩を進め多々益々西鮮產業の開發に資する所あらんとす

吾社は兼營事業として安東六道溝の地區壹千坪をトし最も進歩せる設備と卓越せる技術とを以て綿絲『シルケット』加工染色工業を經營するものなり蓋し機械力に據る本事業の着手は滿鮮を通し本社を以て鼻祖となす所にして其有利確實なる營業者の等しく認識する所なり

公募の理由 本事業は勸業行政上當局の推奬厚く且つ企業の試驗時代を經過し原料及販路の安定を得事業の基礎堅實なるに因り賛加申込非常に多く豫定株數に數倍せるも事業の性質上洽く江湖の賛加を希望し特に貳千株を割き平價を以て公募に付する所以なり

滿鮮染料工業株式會社 創立委員長 寺尾德母

募集要項

資本金總額 金壹百萬圓
壹株の金額 金五拾圓
公募株數 貳千株
第壹回拂込金 壹株に付拾貳圓五拾錢
申込證據金 壹株に付金貳圓五拾錢
申込期間 自大正八年十一月廿四日至大正八年十二月三日三日間
募入決定方法 應募超過の場合は發起人に於て適宜決定す
第一回拂込期日 大正八年十二月八日
◎定款目論見書及申込用紙は左記取扱所へ御申込次第送呈す

創立發起人(イロハ順)
新義州 加藤鐵治郎 新義州 松隈哲次
同 橫江重助 安東縣 藤平泰一
同 多田榮吉 營口 寺尾德母
安東縣 高橋貞三 新義州 阿部國造
同 鶴井仲治 安東縣 杉原佐一郎

申込取扱所
新義州 株式會社朝鮮殖產銀行支店
同 株式會社新義州銀行
安東縣 株式會社滿洲商業銀行
營口 株式會社營口銀行
同 株式會社振興銀行

滿鮮染料工業株式會社創立事務所 新義州本町壹番地 (電話二五六番)

娯樂世界 十二月號 不思議物語

■不思議 振袖火事 ■實說 壺坂靈驗記 ■法力の不思議 ■奇々怪々 佐賀の化猫 ■落語 野ざらし ■夢が實の奇緣 ■實說 狐葛の葉 ■狂 ■佐野の妻 ■長篇 十字の入墨 ■會我の家 ■島に咲く花 ■呪ひの跡 ■幽靈百圓札の行方 ■中村芝居右衞門 ■奇談お化猫 ■幕末實話不思議番附 ■上州の不思議 宮殿血痕 ■お盆の不思議 因緣話 ■或宿屋の不思議 ■不思議 鱗の光る夜 ■暗中に老婆の姿 ■不思議の木曾路の怪 ■神木の不思議 明和の大火 ■一念 ■妻の姉 ■お杉殺し ■長篇小說 玉川御殿

內地御贈答 朝鮮風味 名物佳絶 絶好品

明太魚からすみ

漢陽高麗燒窯元 朝鮮物產商 海市商會 京城本町

電話一五〇番 振替京城四八

サクラビール値上廣告

拜啓初寒の候各位益々御清榮之段奉慶賀候陳者今般各社協定ノ結果十一月二十一日ヨリ左記之通リ値上實行致候條御承知被成下度此段謹告候也

左記

サクラビール 王冠大瓶四打入 壹函ニ付 金參拾圓
サクラビール 王冠小瓶四打入 壹函ニ付 金貳拾圓

合名會社鈴木商店京城支店 サクラビール部

各位

國境横斷旅行（五七）

惠山鎭と其の附近

風聲鶴唳に騒ぐ國境　逃腰の早いは何故か　不安氣分漲る惠山鎭

不穩の風評以來金の貸借が無い　貴重品を山に埋沒した者がある

惠山鎭にて　特派員　伊藤韓堂

對岸地方の不穩なる風評に對する鮮民の不安狀態は茂山郡の或る地方面よりも一層甚だしく記者も途中又は當地に於いて

通信の自由を 有せざる幾多の事實を見聞きした。虚頂嶺を經て殷洞に出づる交通は既に杜絶し、富大堡より奧の窓兵の家族は引揚げる樣な噂さへ立つてをる。「○○軍は十月一日の施政記念日を期して來襲するさうだ」「陰曆八月十五日（十月八日）には大部隊で攻めて來るさうだ」などいふ風評が鮮人間に眞しやかに傳へられ、何れも戰々恟々の有樣だ。去る九月三日當地から下流五里の仁頭堡に一千名の○○軍が上陸したといふ噂が何處からともなく傳へられて惠山鎭の鮮人部落は頗ぶる如な大騒ぎを演じ、愚圖々々してゐると命がないと屋財家財を取纏めて馬上嶺方面に避難し始めた。當局では其の事實なきを説き種々慰撫して漸く鎭靜せしめたが、夫れでも馬上嶺の洞窟や地下に貴重品を埋藏した者が少くないと或る信ずべき鮮人は語つて居つた。此の日は僅一里の馬上嶺まで駄馬が一頭五圓、牛車が一臺二十圓もして牛馬車屋は大儲けしたさうだ。一般が斯ういふ有樣だから經濟界に波及する影響も少くない。從來鮮人間には

金錢の貸借が 絶對に無く、當地の名望家として、將た財産家として信用ある金面長は過日外出先に於いて取引店に二十圓の借用を申込んだら相當の資を有するにも拘らず見事に跳ね付けられた。乃で面長は不安氣分の裏に潜む人心の機微を試みる爲め各所を訪問して二十圓の借用を申込んだが十八軒から拒絶され、遂に自宅から持つて來て用を足したさうである。近年窓匪の聲を聞いて遽に四方から集まつて來た此の地の住民は、土地に對する愛着心が少い所から少しの噂にも浮腰立て、騒ぎ出すのである。或る人が市に出て物價を當つて見ると同一品物で馬鹿に高く賣る者と馬鹿に安く賣る者とある如何なる

理由が潜在す るかと調べて見ると高い方が當然で安い方は捨て賣に賣つて金に代やうとするのであつたさうだ、今日守備隊あり警察署も新設され數十名の警官が配置されたから大船に乘つた心持で茲に安んじて可なる筈なるに、何うしたものか腰が輕い。之れは對岸から鮮人が渡つて來る度にいろ／＼不穩な噂を輸入するので、其れが口から耳、耳から口に傳はる毎に次第に誇大に吹聽されるからである。然し之れも或は

○○軍の政略 であつて、鮮地に於ける住民が少しばかりの噂に騒ぎ出すことに依つて、其の微なる勢力を大なるかに廣告し且つ金品の強徴又は勢力ある鮮人の誘致に資しつゝあるのかも知れぬ、其の原因は那邊に在るにせよ、苟くも我が帝國の國境が得體の知れぬ不逞徒輩の爲めに脅かされつゝある如きは眞に遺憾に堪へぬことである

畏し、大御心

帝室御財産を御整理の上慈惠救恤の御資金に　委員長は山縣公か

頃來洩れ承はる所に依れば聖上陛下には甚だく民情の推移の上に御軫念あらせられ森林原野及び建物等の帝室御財産の全般に亘り積極的御整理を遊ばされ是れに依つて得る所を以て永く慈惠救恤等の御資金に充てさせらるゝの思召あるやにて過般元老等にも御內意を傳へられたる御模樣あり山縣公の如き聖旨に深く感激し

最後の御奉公として渾身の 赤誠を瀝して聖旨に副ひ奉らんとの決心を固めたりと傳へらる又既に御不要の御料地拂下げに關する法令を公布せられ目下帝室林野管理局に於て是が手續き中なるが是も御整理事業の一部と見るべく殊に特に平田東助子に對して宮內省御用掛を仰付けられしは右事業に鞅掌せしめんとの思召ならんとの噂はなるが山縣公の腹案として御財産整理に依りて二千萬圓の歲入（流通資金）を得其一半を皇室費に當て

殘餘を慈惠救恤事業に當 てさせらる、御計畫なりと傳へらる右に就き某氏は語る予等の信ずる所に依れば聖旨を奉體し此大業を遂行し得る實力ある者は山縣公を措いて他に求むべくもあらず而も賢明なる公に於ても夙に其意圖あるとは予の竊に推測する所なり云々（東京電報）

開校す

學生側覺る　京城高普

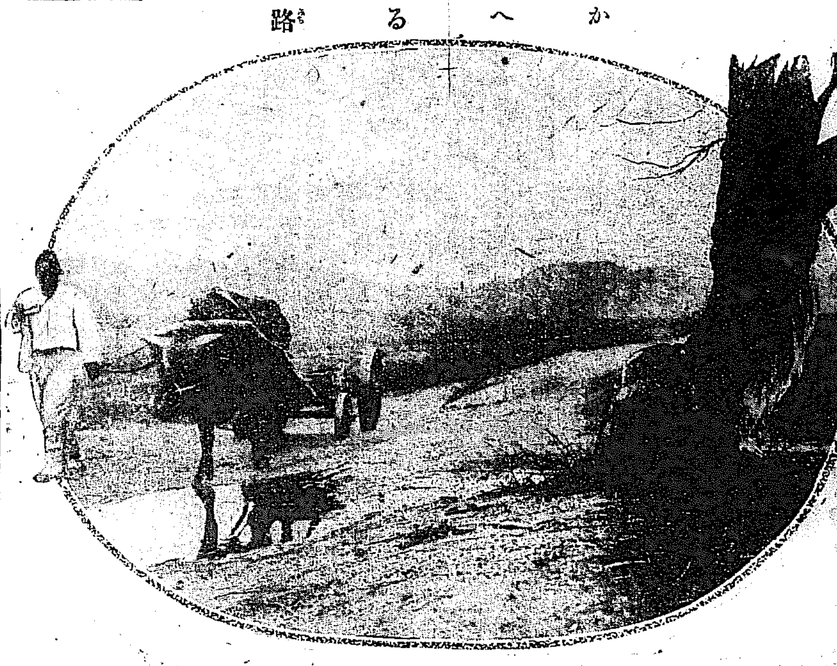
京城高等普通學校では去月中旬第三年級學生の一部が學制改正案を學校側に提出して此改正の行はれざる限り吾等は同盟休業を爲すべしと敦圍いた學生の要求は高等普通學校の現行學制は農業手工等の

實課が多 く中學校の學制に比して學課の程度が低過ぎるから中學校に倣つて之を改正して欲しいと云ふのであつた學校長は此要求に接し學生等の希望に就いて其々も懇諭したが此の要求が漸次校內一般に及ばん事を憂慮し之等一部學生の

反省を促 す目的で取敢ず學務當局と協議の上遂に休校してしまつた元來休校は絶對に避くべき事であるが生徒の要求には相當に同情すべき點もあり殊に總督府に於いては學制改革に就いて調査して居る矢先でもあつたから學校長は此際斯る問題で一般的に

同盟休業 等の忌むべき結果を惹起せしめ生徒の大多數を處分せねばならぬやうな羽目に陷るのを非常に遺憾とし斷然休校の處置を執つたのである然るに學生の一部分は此問題に關連して他の學生に强迫的行爲等を加へたる者が出來たので止むを得ず斯うした不心得者十數名だけは

退學處分 に附したが爾後學生は時日の經過と共に次第に感醒し不穩の空氣も沈靜に歸いたので本日十九日を以て再び開校する事になつた開校同日は登校者二百七十餘名であつたが二十日は約三百を算し二十一日は殆ど騷擾前休校前の出席步合に復した相である先般學務局長が發表した高等普通、女子高等普通學校規則改正案も愈々全部脱稿し遲くも今月末には其發令を見る筈だと云ふから學生も此の點に了解を得單り同校のみでなく他の中等程度以上の各學校もやがて平調に復するであらうことは喜ばしい事である



かへる路

今年の惡感冒も　なかく激烈

傳染徑路は唾液と痰　總督府醫院長　芳賀博士談

流感が漸く終熄に近づいたと思ふとまた／＼惡性寒冒の流行には弱らされる、醫官練習所の患者の中肺炎を併發した三人は總督府醫院に入院させたが二人は

遂に死去 した程で今年のも去年に負けず激烈のやうだ、が此流行寒冒の困るのは他の傳染病の如に病原菌が未だ確定して居ないから豫防や手當てが充分に盡せないので容易く流行しだしたら止め處なく傳播して行くには閉口する。目下研究中の病原菌が發見されたら

豫防注射 も自然施せるやうにならうが今の處は各自が注意して風邪をひかぬやうに普通行はれてる耐寒の心得を實行するより外はない、即ち皮膚を能く摩擦する事、餓に寒い外氣に觸れぬ事、肌を清潔にして皮膚の作用をよくする事

飲食物に 注意して胃腸を害さぬやうにする事等で更めて事新しく言ふ程の事もないが畢竟之だけは是非忘れずに各人に用ひて貰ひたい。惡性寒冒は空氣傳播をすると云はれて居るが多くは唾液とか痰等から傳染するので鼻口を蔽ふて居る時には比較的其の憂ひが尠い。夫から

流行期に 入つたら活動とか芝居とかには餘り行かぬやうにし成るべく宴會や集會等も減じるやうにしたい。當局でも不日之に對する一般の心得書を發表しやうが兎に角各自が戒して少し怪しいと思つたら直ぐ醫師にかゝつて疾く手當をするやうにせねばならぬ。

益々擴がる惡感冒

支那人夫十數名を襲ふ

東大門外土木局出張所使用の石材採取支那人夫間にも流行感冒に罹る者多く現に十數名の患者は黃金町本田醫師の手に依り診察中の由

學務局長が宣教師と會見

近々佛教側を招待

何事にも先づ當つてからと云ふ能動主義の柴田學務局長は廿日の夜朝鮮ホテルに內鮮外國各宣教師廿餘名を招待し懇談を遂げた相である柴田局長は『ナーニ宴會と云ふ程でもないが教育と宗教とは密接な關係があるから當局と宣教師諸君と談笑の間に意志の發表をして御互の主義主張を戰はすのは御互に有利であると思つて招待した迄である、過日は基督教の人達と會見したが更に近く佛教界の人達とも膝を交へて語りたいと思つてゐます』

高興郡の大火

四十戸燒失

十九日午後一時二十分頃全南高興郡蓬萊面新溪里安井憲松方濕突より發火したるが折柄の強風に火は忽ち四邊に蔓延り急を聞きて馳せ付けたる附近住民が必死の消火も其甲斐なく內地人家屋二十二戶鮮人家屋十五戶を燒き拂ひて同三時三十分鎭火したり損害見積一萬二千二百圓人畜の死傷なし（光州）

兵營見學の感想 一、二、三

最も興味を惹いた炊事場と縫靴工場

去る十四日貴社主催の婦人見學は誠に結構な催しにて大いに得る處がありました私は其一員として當日の感想二三を擧げて感謝の意を表します朝まだき九時といふに

營門前 に同志の婦人の多數集聞され今日の幸を喜び待たるゝ態度に私をして滿足を覺えしめました見學に先だち營庭に於ける聯隊長の切なる御話は痛切に戰後の婦人として國家的社會的に其責任の重且大なる事を感ぜざるを得ませんでした順次見學中とり分け

興味を そゝられましたのは炊事場と縫靴工場でありまして炊事場の物資勞力共に經濟的に考案設備せられたる事縫靴工場の活氣みなぎる兵士方が物靜かに細密な被服の修理にいそしまれる狀を見ては實にいぢらしくいひ知れぬ感に打たれました其他見るもの聞くもの悉く感心の

行屆き たる狀態心の外にはなく私等家庭婦人は唯一府を以つて盛改善の餘地がある事を切に感じました、當日の見學に依て殊更に兵士方が君國の爲暖かき家庭をよそにあの嚴格なる營內生活のさまは實に私をして眞から同情感謝の念を催させました、當日私等見學團員につき遺憾に思ひましたのは今少しく

動作の 活潑服裝の輕便ならん事であります然らざれば成さず或は服裝にとらはれの觀であります當日の天候加減も如何かと見受けました、皮肉な意とも服裝の奴隷をして歳に目醒まさの意ではなかつたかと思はれました私等家庭婦人は大いに

自覺し 時代の思潮に進展して眞に意義ある生活をなすべきであります。ふつゝかな乍ら二三を擧げて貴社に感謝の意を表しますと向後もどうか斯る催しのあらん事を願ひます（京城大和町　渡邊みの）

續衛機（投書歡迎）

新財源　エム、エム生

近時物價の騰貴に伴ひ國家の經費も亦増大し一般府民殊に中産階級の困難は誠に止むを得ざる所なるべし（以下判讀困難）

一、地稅、所得稅の增加、二、奢侈稅、三、營業稅の增徵、四、酒稅、五、自動車、自轉車及人力車稅の增加、六、玉突稅等

以上六項の中其の新税は何れも敢て苦痛を感ぜざるものにして或は他に轉嫁して却つて營に利するあるべく要するに奢侈稅の如きは富裕者に課する間接稅なり

悲慘な雇員　窮措大

にして多々益々辨ずべく者之を避くれば當時無茶苦茶して可なりなり

秋高くして馬肥へ米高くして吾人等雇員は益々痩ゆるのである、遠く父母の膝下を去つて朝鮮まで來り辛うじて自炊生活をなし朝夕二食に減食し乍ら僅且つ自己生活の安定すら保ち得ないとは……吾人は必要なる書物一巻すら購ひ得ぬのみか居る武士は食はねど高楊子とは既に陳腐の語として現代には通用せぬ、此の貧乏なる本俸を借て敢て當局に訴ふるの所以は吾人雇員の所屬員日給者に對して今少しく生活の安定を與へられん事を熱望して止まぬ次第である

運動界

二流爭霸戰　決戰は今日

體育協會主催の二流チーム爭覇戰は廿三日午前九時より開始驛前グランドにて鐵道軍對公會堂グランドにて東洋協會對スタンダード軍の試合を行ひ午前十一時より右二勝者の決勝戰ある筈

京倶對滿倶

本年の納會として京城倶樂部は其精鋭を集め滿鐵軍と掉尾の一戰を擧行する由右は二流チーム爭覇戰終了後直ちに公園グラウンドにて擧行の筈

記念武德祭

廿三日午前九時より黃金町二丁目武德殿に於いて開館七週年記念の劍道大會を擧行する筈

尺八演奏會

今回京都帝國大學教授にして都山流尺八師範たる氏が渡鮮せるを機とし同流同好者にて歡迎の意を表する爲め總督府後援倶樂部に於て二十三日午後五時より演奏會を開催する由

煙草泥棒

府內安國洞一三番地池聖宅（二二）は十六日午前三時頃太平通り二丁目五十一番地煙草商鄭日發方の二階に侵入し煙草四百匣及びパイレツト四匣を窃取逃走せんとする處を家人が發見取押へたるが二十二日送局に送らる

僅か二ヶ月で卒業　工業技工士となれる　月收百圓

本校を卒業せば勤勉次第腕次第小學程度の者も得らる新しく通信講義で短期間に自宅獨習で卒業せしむ技工士の稱號を以て出で高給就職を指導す中込次第校則及見本送呈（ハガキにて）東京淺草瓦町日本通信工科學校

工事請負公告
一、割栗石採取並運搬工事
右來ル十一月二十八日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

工事請負公告
一、割栗石參百貳拾立坪
右備品ス詳細ハ十一月二十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

工事請負公告
一、京城訓練院公園園丁宿舍新築工事
右來ル十一月二十四日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

公債株式現物賣買　證券担保之金融信託　工業藥品理化學器械　滿洲製紙會社特約店
大連株式商品組合員　滿洲證券現物市場仲買　大連市若狹町一ノ三　電話長一七九八番　振替大連二一〇二番
龍　開灤商會

京日案内
一回前金二十錢番外一回前金壹圓（二十字詰）一段名稱每回六回以上の申込み特に割引の事

外交社員招聘　業務擴張に付希望者は履歷書携帶來談あれ　府旭町一ノ七十一番地　大正企商社

町田新聞部　電話壹七五番

市內某大商店　簿記係ヲ求ム　希望者は履歷書送附あれ

古本高價買入　遠近多少不論御報參上　京城本町一ノ五九　文光堂書店

恩給立替　金は證書引換に御送可致候　京城若草町郵便ポスト前　西村商會

內外勤社員招聘　内鮮人不問　希望者は履歷書携帶午前中來談　京城黃金町一ノ八　帝國生命保險株式會社

移轉　明治町ヤン教會前ヨリ　旭町一丁目上（元捕平庭跡）電話二五九五番　うちみくじき　ほねつぎ　治療所　荒川仁

內外勤社員募集　希望者は午後四時迄履歷書持參　京城黃金町二丁目　有隣生命保險朝鮮支部

女事務員至急入用　十八歲以上卅歲未滿希望者は自筆履歷書携帶本人來談ありたし　南米倉町市場　岩城商會

移轉廣告

各位の御引立に依り追々隆盛に赴き隨て事務所狹隘を告げ候に付今般左記へ移轉一層勉强可仕候間倍舊の御愛顧を被仰付度此段謹告仕候

弊社儀

京城府旭町二丁目七拾八番地（元白耳義國領事館）

橫濱火災海上運送信用保險株式會社京城出張所

所長　中村　毅

（電話長一八二九番）（振替口座京城一三三番）

新案獨學　イロハ辭典付　鮮語自在

笹山章書　ウツボ屋書店發行

ポケット形二百頁　並製六十錢　上製八十錢　送料各四錢

發行十ヶ月餘ニシテ版ヲ重ヌル事既ニ五回、以ツテ本書ガ如何ニ其內容ノ充實セルカヲ知ルニ足ラン……萬人必携の良書ハ是！

發賣元　京城本町　日韓書房

カレンダー

日メクリコヨミ　御印入調製

JANUARY　1　大正九年一月一日　木曜日　四方拜　一白先負　つちのへうま　舊十一月十一日

即時……時刻……御注文（御申越次第早速カタログ御送付致候）

早く……早く……御用意（市內は御一報次第見本御覽に入可申候）

京城本町二丁目　日之出商行

▲急告▼

內地三都に率先して封切

本月十一日播摑の野に擧行せられたる

陸軍特別大演習の實況

特別番外として本日より差加へ映寫仕候

日活特約　喜樂館　大正館

徹底せよ！

總ての上に……日く何…日く何…問題！

服用は總身驅毒療法の徹底せる最良法！

カトウ　百毒下し

本舖　加藤翠松堂　伊勢

夜の蜘蛛 江見水蔭

（三二） 挿畫 近藤紫雲

『あの娘に就て、昨夜大騷ぎが起つたのですよ』

龍子に就て起つた老壯士の亂暴をタンクは誇大に語り出した。

水上伯ミ田部谷ミは鬱しさうにそれを聽いてゐる處へ、大勢の跫音がして、三階へミ駈上がる樣子。嬉々として語り合ふのが皆少年の口から出るらしいので伯爵賴之は耳を立てた。

『何だ。少年のお客か』

『はア……六七人で……』タンクは答へた。

『子供の癖に宴會を開くのでもなからうが。如うしたのか』

『同窓會の下準備ださうでしてよ』

『生意氣だなア。何處の生徒か』

『學習院の服も見ゑました』

『學習院？』

『牧島子爵の坊ツちやまから、お電話で、室を取つて置く樣にお云ひ付けでして……』

『牧島子爵？牧島家は築地のだらうが。彼處に學習院へ行く樣な坊ッちやんが有つたか知らん』

賴之は不審の眉を顰めた。

田部谷は其方には注意を拂はずして、第二の小糸ミいふのが氣に成つて耐へられぬ。

『おい、その龍ちやんミかを早く連れて來んかね』

『貴郎まで妾を排斥して、龍ちやん歡迎の氣勢を添へるの……然うね。貴郎は小糸さん御熱心で、あの人がアイスクリームを持つて來るミ、これミ一緒に顏中解けさしてお了ひしたわね……小糸さんがゐなく成れば、龍ちやんを御贔屓なのは仕方が有りませんね。今直呼んで來ますわ』

タンクは漸く後退した。

賴之は田部谷に向つて。

『牧島子爵の令息達が、三階で同窓會の下準備をするなんて、何だか少し腑に落ちない。一寸僕は偵察して來るから、待つてゐて呉れ給へ』ミ云ひ置いて、急いで三階へ上がつて行つた。

田部谷は一人に成つた。

誰も未だ來ない。

所うして靜かな一室に獨りでゐるミ、種々の事を考へ出す。郊外散步の約束を小糸ミしたのも此處で有つた。其の前に十圓紙幣を密ミ握らしたのも此室で有つた。

それが昨日のあの失敗だ。昨日の今頃は既う田舍路に唯一人で置去られてゐたのだ。

自動車で連出したから、あんな失敗をしたので、突如池上から森ケ崎の鑛泉宿へ連れて行けばあんな事には成らなかつたのだらうのに、惜い事をした。あれは全然小糸の意志では無いのだらう、ダムダム彈次の手前が有るので、それで吾が輩に過酷だつたのだらうミ、そんな自惚さへ生じてゐた。

恐る〳〵其處へ入り來つた。成る程第二の小糸だ。實に克く似てゐる。

龍子は唯極り惡さうに其處に立つてゐる。

『あゝ、龍ちやんミ云ふさうぢやね。此處へお出で、此處へ……』

新調の鼻眼鏡を掛直しては見た。

『御用は……』

低い〳〵聲で龍子は問うた。

『や、用はいろ〳〵有るが……今、氷上さんが何か注文される容で……や、お前、この手は何うしたのか。繃帶をしてゐるね』

『一寸、怪我を……』

『これ〳〵、僕が見て上げよう。ナニ醫者ぢやア無いけれど、まア、その手を……』

龍子は何處までも生眞面目に

『いゝえ、何でも無いので御座いますわ。直癒りますので……』

『……』

其儘室外へ出て行つた。

小糸より遙に手嚴しい。

でも田部谷は此位の事で銷沈する樣な男では無かつた。

『今度は屹ミ成功して見せるぞ。それで無いミ、吾が輩の面目が立たん』

ごんな熱いスープにも懲りないミ見ゑる。

書畫 絖絹 用　京染呉服商 たまや出張店 京城明治町二 電話一九六

ミルクキヤラメル　チヨコレート

新刊紹介

▼ニコ〳〵（一〇一）ニコ〳〵雜誌の復活さるゝものにて賑やかなるこミ夥だしく社會の裏面側面を描き出して走馬燈の如く珍談奇話の共進會なり（四十五錢、東京麹町區有樂町一ニコ〳〵倶樂部）

▼圍碁はめ手（五段瀬越憲作著）圍碁界に於て間々推道として用ゐらる失敗を免るべきハメ手の秘訣を說けるもの非常の喜ぶべき著書なり（八十五錢、東京日本橋區スキヤ丁一六屋號、同神田區南神保町新文館）

▼米國に於けるアルコル戰（內務省社會局）三十錢東京麹町區永田町中央報德會

▼小女畫報（八の十二）表紙口繪挿畫共に美しきもののみにて讀み物も清新なる少女向きの面白き記事に富む（二十五錢、東京々橋區疊町一東京社）

▼詠進の栞（大日本歌道會編）年頭詠進の心得を明細に記述せるもの（五十錢、東京目黑的場七七七春秋社）

▼民育雜話（村田宇一郎述）三十錢東京麹町永田町一中央報德會

▼田舍草紙（山崎延吉述）同上

▼少女（八四）お稽古號にして裁縫、作法、料理、繪畫、和歌、手工、語學、茶の湯、活け花其他の稽古の手引、少女小說其他の面白き話多數に收む（廿三錢東京時事新報社）

▼大觀（二の十一）改造の根本要諦（大隈侯）社會革命の將來ミ國民の覺悟（五來素川）青島問題紛糾の理由すべきか（安達謙藏）歐米の勞働問題（蜷川博士）如何にして選擧界を廓淸（添田壽一）朝鮮騷擾の由來（島田三郎）貴族ミ食糧政策（七旦院議員）瑞典の現狀ミ國王の生活（內田定槌）世界文化の三大潮流（西村眞次）宇宙界の思想（戶田博士其他）大隈侯座談等及び文藝評論（津上他）中條百合子、加能作次郎氏の創作（四十錢東京牛込市ヶ谷町大觀社）

○國士舘學生募集　此程東京市外世田ヶ谷松陰神社畔に新築落成武衆〔illegible〕せる國士舘にては今回入學志願者〔illegible〕

▲〔illegible〕來しつゝあり規則書は同部宛申込次第郵送する由

○飛行家養成講義發刊　東京蒲田公認日本自動車學校飛行機部にては最新飛行機講義錄全六卷を今回發行したるが申込み次第見本規則書無代送呈すと

▲私は英語を習ひたい者ですが京城若しくは龍山にて個人教授を致して下さる處はありませんでせうか　それとも又教會や學校で教へて下さる處はないでせうかABDから習ひたいのです成るべくなら龍山に在住したいと思ひますけれ共京城でも差支へありません甚だ恐縮ですが本欄にて御教へ下さい（龍山生）▲近來火災保險會社が協定したミか申して從來三四倍以上でなくば契約出來ぬミ申して居る實に暴利方も甚だしい其の協定外の會社あらば此際ごし〳〵廣告の發展せられんこミを希ふ保險率の高まるは延て借家賃の高くなるこミふこミであるこれ實に社會上の大問題である特に朝鮮に於て如斯急激なる昂騰を實行するは宜しからず當政者に於ても調査の上相當の策を就られんこミを望む（家主ミ借人）▲所謂新派の俳句撰者松田先生さしての撰句紙上俳句當選發表の一等蜻蛉の句は巧拙は措いて頗る陳腐だミ思ふ彼の有名な『朝顏に釣瓶取られて貰ひ水』又は月並で散見した『松に預けて柿の番雞かな』（讀人不知）等を剽つた譯でもなからうミ思ふが新進氣鋭な俳味の邪道に存在しつゝあるかを疑ふ敢て敎を乞ふ予に一狂句あり『鉢卷をして蜻蛉の句に挑戰し』（安州ケンカ坊）▲安州ケンカ坊氏へ貴方は湊へ迎へして居られます蜻蛉の句は特選で無くして五選句であつて毎の脇に選者の名が出してありますから喧嘩にはなりますまい（俳句係）▲某學校制服科の某先生よ他人の惡口のみ云はずミ自己の職務に勵まれ（生徒の一父兄）▲エスワイ生御住所御知らせ被下たし（愛兒家）

京城長谷川町銭湯温泉前　正五位勳三等　岩田病院　內科 特殊花柳科 一般外科　岩田末彦　入院隨意（電話一六二〇番）

將棊新手合（六）

左香落　△京城熊谷順太郎（三段）　▲京城廣戶 庄吉（初段）

於京城黃金町三丁目二二五 滿日本將棊所（電話二〇二八）

（圖は前號指了迄の局面）　△持駒熊谷氏 歩

指手（前日ヨリ續ク）

△七三飛ナル（ツ）▲九四玉△八二角ナル▲九五玉△七六龍玉▲七五歩△六七龍玉▲三六歩（ネ）△七三ミ▲三七歩ナル△同銀▲三六歩△四八銀引▲二六歩△三八金▲二七歩ナル△同金（以下次號）

溝呂木六段講評

△（ツ）七三飛なるは惡し此處九五歩と打たば敵は勝手に苦しまん

▲（ネ）三六歩は惡し七六銀と打ちて入玉の手段を講ずれば勝つ處なり

恐ろしい流行感冒襲來の兆あり

豫防及治療藥

其筋にては極力豫防に盡粹して居られます殊に閑院宮も公の爲め本年大流行の際東京帝國大學病院に於て最も確效を認め關係者に頒布せられた靈藥を（大學病院藥局製劑部長）松田秀松氏監督の下に十萬袋調製し一人に付十袋以内を限り頒藥致します希望者は至急御申込下さい

東京市小石川區下富坂　胃腸藥タラコン本舖　〔illegible〕

たんせきゼンソクに稀れな良藥あり

痰咳喘息は難症中の難症として之に對する適當の藥物は殆んど無い位である。本舖製藥部は多年の經驗に依て一種の驚く可き奇藥を發見し之に加ふるに幾多の植物性有効成分を配伍したる獨特の卓効藥立効丸を創製し普ねく之を天下の同病者に頒たんとす。苦しむ人、他の藥を服んでも効かぬ人は、此際是非三粒を用ひて非凡な奏効を實驗されよ

たんせきゼンソク藥 立効丸 東京 寺田製藥謹製

立効丸は甜藥としてノドの痛みに直接の作用をなし、更に之を飲下すれば內部に於て絕大なる奏効がある。副作用の危險絕對に無し。

▼痰咳にて咽喉がぜら〳〵する人◎喘息にてゼイ〳〵息切れする人◎咽喉氣管支の故障◎肺病のたんせき◎風邪のたんせき◎聲涸れ◎小兒の百日ぜき◎其他たんせき、ゼンソク一切に大効あり

定價 廿錢、五十錢、一圓

▼各藥店に有り▼直接本舖へ御注文は振替又は代金引換へ頂戴升　代金着次第急送す（郵送料不要）

東京上野池之端仲町二十七　賣弁本舖　守田治兵衛藥房　振替東京二九八五番

最新刊

書名	著者	價	送
勞働問題研究	松崎源	二、〇〇	〇八
利己主義者の社會觀	〔illegible〕	一、六〇	〇八
民力涵養	加藤咄堂	一、〇〇	〇八
里程入 朝鮮大地圖		二、五〇 / 四、〇〇	〇六 / 一八
滿蒙支案內	〔illegible〕院	一、〇〇	一〇
古美術行脚	黑田鵬心	一、二〇	〇八
與謝野晶子著 晶子歌話		一圓二十錢	八錢
絞染ミ共想	永島信子	一、〇〇	〇八
英國勞働黨の本領	佐藤譯	〇、九〇	〇六
トランク事件	齋藤譯	一、二五	〇六
山田邸童著 月給生活者の副業		一圓九十錢	送料八錢
彼岸の光	木村譯	一、〇〇	〇六
デカルト方法論	牛山	〇、七〇	〇四

▲大正九年日記類全部着荷仕候

京城本町一丁目　大阪屋號　〔illegible〕

資本金壹千萬圓　頭取 安田善三郎

京城本町一丁目　株式會社 百三十銀行京城支店　電話長五八番　振替貯金京城一九四番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

內科 胃腸病　診察 午前〔illegible〕より午後九時迄　石川醫院　京城本町一丁目　電話一二七九番

梅毒、淋病 皮膚、婦人科 專門　◎梅毒有無診定　◎入院隨時　診察時間 午前八時より午後九時迄

香山醫院　東京九段坂下郵便局前 香山製藥合資會社附屬　電話番町二四四番

皮膚病專門藥 外用 奇能膏

東京九段坂下郵便局前 香山製藥合資會社賣藥部 電話番町二四四番・振替東京三五三五番

效能（そばかす、ひぜん、いんきん、たむし、しらくも、くさ、ぼつ〔illegible〕）

左記の病氣にて御困りの御方は是非御使用を望む　定價 大五十錢 中三十錢 小二十錢　送料十錢

百發百中

定價 試用〔illegible〕　一週一回分 金壹圓　豫防藥 一月有効一回分　三週間分 三圓　送料內地十二錢 其他十五錢

◎注意 如神丸に限り一患者に對し三週間分以上販賣せず

責任　本劑は第一期第二期第三期の梅毒を〔illegible〕於て全治に至る迄無代施療の責任を負ふ遠方の方は無代送藥すべく各位安心服藥せられよ

效能　〔illegible〕

商標 梅毒 治療藥 如神丸 よけの豫防藥

梅毒に苦しむ人は本劑あるを未だ知らざる人なり　（說明書無代進呈）

事業擴張の爲め九段坂下郵便局前白煉瓦三階建家屋に移轉す

大正八年十一月 日　香山製藥合資會社　同附屬 香山醫院 研究部 賣藥部

小男も大男

身長器の發明 器械無料貸與

人間の價格は大小二百餘個の骨で組立られ骨ミ骨の間には軟骨ミ云ふ肉があつて之を伸せば姿勢正しく全身が高くなるのは何でもない今回身長器を發明せられ工合よく姿勢正しく身長加減が申分なく取扱便利で僅かな日數で完全に身長增加を證明します希望者は無料貸與す詳細說明書を添て　東京京橋區入船町〔illegible〕器械療法所

はハガキで申込次第送呈す

純金色金齒

賀物廣告の爲先著五百名限り御買求の方に限り別に一枚無代進呈▼新案合成金製にて取入れ自由輕便最新流行金齒特價卅五錢ハガキ一枚今申込は代金後送り　地方特約店募集規定目錄見本要十錢

東京下谷龍泉寺町三三 振東京四九五〇 金齒卸問屋 大西屋商店

鹽價値下

鎭南浦	京城	大邱	釜山	元山	群山	木浦
一、四一	一、七六	一、九一	一、九四	一、八八	一、九〇	一、九三

本價格は包裝二等鹽百斤當の價格なり一等鹽は目下品切れ

財務局廣梁灣出張所

イケダ小兒內科病院　池田季雄　京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（病院二三四番 自宅三〇〇〇番）

純良の藥品ミ賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから……卸値が安いです……

京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番 振替七三七番

看板はフジノ工舍　サツポロビール專屬工所 京城本町三丁目 電話七三一番

湯上りの一滴！千萬無量の快感あり

純白美乳

若夫人令孃間に高評嘖々！

僅か一滴、併しその一滴の中に千萬無量の快感ある純白美乳が御婦人方の湯上り用ミして今や無くて叶はぬ美容料ミせられ、就中若夫人、令孃間に高評嘖々たるは確かに近代科學界の誇りミすべきでありませう。入浴に依つて皮膚を淸淨にし內面組織の溫かに且柔かになつたミころへ其の營養機能の要求に應ずべく日本に初めて出來た美容劑純白美乳の一滴を與へますれば合理的に根本組織卽ち生地から白色化して如何なる性來の色黑の方をも艶麗はしき美人にさせます皆樣お試し遊ばせ！

家庭で……純白美乳！　盛裝の時…美乳白粉！

美乳本舖 矢野芳香園

▲ストーブ 各種　▲鴨 金 各寸法 着荷

和洋金物商 ☑ 佐藤半次郎商店　京城本町三丁目　電話二四三番 電略（サト） 振替口座京城一〇一〇番

萬人向きする 美しい 美しい

肌色美顏水

去年迄斯ういふものは無かつた

◇お化粧上手と 言はれるやうな方々の間には、以前から肌色の水白粉も使はれてゐたものですが、それは肌色の水白粉がよく似合つて、化粧美を現はし、具合も少くない上、種々工合のよい事がありますからで

◇現に婦人方は 近頃盛に其れをお用ひになる樣になりましたが、今其の方々の使はれるのは重に桃谷研究試驗所で創製した肌色美顏水です。肌色美顏水は餘り眞白で無く濃艶過ぎず、亦餘り淡過ぎもせず

◇中程度の化粧 をお好みの方に丁度よく出來てゐますから、多くの方に是れが大層重寶ミいふ感じを與へたのですが、尙色の白く無いお顏には餘り眞白なお化粧は變なので、從來困つてゐた樣な方々には

◇白い所へ輕い 美しい肌色の附いてゐる此水白粉の誠に工合のよい事が解つたのです。何故なら肌色美顏水は白い事は白くても、其れに含んでゐる自然の色の肌色で調和が採つてあるので、丁度性來色の

◇白い人と同じ やうなお化粧になるからです。それから顏に脂肪が多かつたり吹出物があつたり肌理細かで無い樣な方は白粉が附きにくゝ且つ剝げ易いものですが、肌色美顏水ですこお化粧が誠に工合よく

◇勞なく綺麗に 附き、萬一顏の內でも殊に脂肪の多い部分などが剝げる事があつても、肌色の附いてゐる水白粉ですから別に際立つ事もなく、何時までも化粧美を保つてゐるのです。此水白粉は以前から

◇高貴方御用命 に依り謹製奉進してゐたものですが、世のお化粧の進步に連れて昨年から一般に發賣し出したのですが、其後日に日に盛に皆樣の間に擴りつゝあります。肌色美顏水は化粧品の中でも日常

◇必要品である といふ定評になつて居りますが、一度お試しになれば新しい學術から生れた此化粧料が、皆樣の進步した化粧上のお考へに、きつミ滿足なるお答へを致します事は、責任を以て申上げます

去年迄斯ういふものは無かつた

大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）

△鎭南浦大阪行 金澤丸 十一月十五日正午出帆

△大連 大阪行 大進丸 十一月十八日〔illegible〕

△三瓶山丸 十一月十六日〔illegible〕

（元山出帆）

浦潮行 安平丸 十一月十九日〔illegible〕

釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 十一月廿五日〔illegible〕

（大池出帆）

上海、芝罘、基隆、打狗行 湖北丸 十一月〔illegible〕 基隆丸 十一月廿四日〔illegible〕

內地各港出帆主要便

歐洲行 一年四回 北米行 每月一回 南米行 一年四回 濠洲行 每月一回 南洋行 每月一回

御注意 〔illegible〕

大阪商船株式會社仁川支店 電話二二一〇番

〔illegible〕

共同汽船出帆

△奏皇島行 第二共同丸 十一月〔illegible〕

△青島直行 第十六共同丸 十一月二十日〔illegible〕

△大連直行 第十二共同丸 〔illegible〕

朝鮮鐵道主要驛にて〔illegible〕大連にて汽車〔illegible〕

阿部〔illegible〕

仁川代理店 〔illegible〕

元山代理店 田中〔illegible〕

京城取次店 河村〔illegible〕

朝鮮郵船出帆

△敦賀行 〔illegible〕

立神丸 十一月三十日〔illegible〕

△浦汐行 〔illegible〕 平安丸 十一月廿五日〔illegible〕

△雄基行 〔illegible〕 平安丸 十一月廿七日〔illegible〕 雄基丸 十一月廿九日〔illegible〕 平壤丸 十一月三十日〔illegible〕

△元山雄基線 鏡城丸 十二月〔illegible〕

△大阪行 〔illegible〕 春日丸 十一月三十日〔illegible〕 十二月二日〔illegible〕

△關門行 〔illegible〕 雄基丸 十一月廿九日〔illegible〕 京畿丸 十二月二日〔illegible〕

△濟州島行 〔illegible〕 咸鏡丸 十二月一日〔illegible〕

濟州島行 〔illegible〕 ○宗信丸○慶寶丸 昌平丸 十一月廿七日〔illegible〕

△濟州島行 〔illegible〕 東廻慶興丸 十一月五日 西廻公州丸 十二月一日〔illegible〕

△釜山臨水線 〔illegible〕 順天丸 十一月廿八日〔illegible〕

△多島海行 〔illegible〕 慶興丸 十二月一日〔illegible〕

△木浦行 〔illegible〕 晉州丸 十一月廿八日〔illegible〕

△濟州行 〔illegible〕

△鎭南浦行 〔illegible〕 宗信丸 十二月三日〔illegible〕

△大連青島行 〔illegible〕 江原丸 十一月廿六日〔illegible〕

本社 京城南大門通 〔illegible〕

釜山佐藤町 〔illegible〕 元山海岸通 〔illegible〕 仁川代理店 〔illegible〕 木浦代理店 〔illegible〕 京城取扱店 〔illegible〕

其他各寄港地ニ荷客取扱店

獨逸船舶近況 〔illegible〕